

令和 5 年度
埼玉県高等学校体育連盟
剣道専門部要覧

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部
専門部ホームページ
(<http://saitama-koukou-kendo.jp/>)

目 次

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部内規	1
埼玉県高等学校剣道専門部ホームページ運用規定	2
埼玉県高体連主催剣道大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて	3
埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部役員表	4
県内大会予定表	5
県内・県外行事予定表	6
大会役員表	7
専門部常任・専門委員表	8
競技部役割分担表	9
関東高校剣道大会県予選会要項	1 0
学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会県予選会要項	1 2
埼玉県剣道大会要項	1 3
県民総合スポーツ大会兼埼玉県高等学校剣道新人大会要項	1 4
大会申し合わせ事項	1 5
全国高体連剣道専門部申し合わせ事項	2 0
全国高体連剣道専門部努力目標	2 4
＜高校剣道鏝競り合い改善＞概要版	2 6
埼玉県高体連参加資格	2 8
強化行事について	2 9
指導普及部行事（審査・講習）について	3 0
高校剣道連盟一級審査会要項	3 1
高校剣道連盟段位審査会要項	3 3
指導普及部役割分担表	3 9
高校剣道連盟登録用紙の入力方法	4 0
高校剣道連盟会費について	4 1
高校剣道連盟会員登録申込書学校番号	4 2
総務部役割分担表	4 3
埼玉県高体連剣道専門部行事予定	4 4
各書類の提出について	4 6

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部内規

1. 名 称 埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部と称する。
2. 役 員 (1) 専門部に次の役員を置く。
専門部長 1名
副 部 長 若干名
委 員 長 1名
副委員長 4名
常任委員 30名
特別委員 若干名
- (2) 埼玉県剣道連盟加盟団体高校剣道連盟として次の役員を置く。
加盟団体長 1名
理 事 1名
事 務 局 長 1名
会 計 1名
監 事 2名
3. 組 織 各部の組織と業務は次のとおりとする。(各部の部長を含む)
(1) 総 務 部 (5名)
・庶務・記録広報・議事録
(2) 指導普及部 (7名)
・審査会・登録・講習会
(3) 競 技 部 (9名)
・大会運営
(4) 強 化 部 (9名)
・選手強化
※各部の人数は原則とする。
4. 会 議 専門部に次の会議を置く。
(1) 部長・委員長会 専門部の重要事項の審議
(部長、副部長、委員長、副委員長、各部部長)
(2) 常任委員会 役員改選案・行事計画案・大会要項・運営要領・内規改正
(部長、副部長、委員長、副委員長、常任委員、特別委員)
(剣道専門部会計担当2名、HP担当1名、高校剣道連盟役員)
(3) 顧問総会 役員承認・行事計画・その他
(4) 代表者会議 大会申し合わせ事項(各校監督・主将)
(5) 審判委員会 審判員選出
(審判長、副審判長、委員長、副委員長、競技部)
(6) ホームページ委員会
5. 役員の選出 (1) 専門部長は常任委員会の推薦により高等学校長に依頼する。
(2) 副部長、委員長、各部部長は常任委員会で選出し、専門部委員会で承認する。ただし、副委員長は東西南北の委員長をこれにあてる。
(3) 常任委員は各校剣道部顧問より選出されたもの。
(4) 剣道専門部会計担当(2名)、HP担当(1名)、監査を除く高校剣道連盟役員は部長より任命を受け、常任委員会で推薦を受け承認されたもの。ただし、常任委員との兼務は妨げない。
(5) 特別委員は部長、副部長、委員長、常任委員の経験者より常任委員会の推薦により依頼することができる。
(6) 部長、副部長、委員長、副委員長、剣道専門部会計担当、HP担当、高校剣道連盟役員は常任委員の定数に含まない。
6. 役員の任期 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

以上の規約は、埼玉県高等学校体育連盟規約・種目別専門部規定を基準として規定した。

平成 2年 2月20日
改正 平成 3年12月18日
改正 平成 5年12月14日
改正 平成12年12月 5日
改正 平成18年 2月17日
改正 平成19年12月12日

改正 平成22年 2月 3日
改正 平成23年 4月19日
改正 平成28年12月14日
改正 平成30年 5月30日

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部 ホームページ運用規定

（目的）

1－1 本規定は埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部（以下専門部という）がインターネットホームページを活用し、専門部に関する情報を提供することにより、わかりやすく開かれた専門部を目指すことを目的として、ホームページの管理運用について定めることとする。

（ホームページ管理者およびホームページ管理運用責任者）

2－1 ホームページ管理者（以下管理者という）を専門部長とし、ホームページの管理運用を統括する。

2－2 管理者はホームページ管理運用責任者（以下責任者という）を置き、ホームページの管理運用にあたらせる。責任者は委員長とする。

（ホームページ管理運営委員会の設置）

3－1 ホームページの管理運用、ホームページに掲載する情報の選定を行うため、ホームページ管理運営委員会（以下「委員会」という）を設置する。

3－2 委員会は次の事項を掌握する。

- ①ホームページの管理運用に関すること。
- ②ホームページの掲載内容に関すること。
- ③セキュリティに関すること。
- ④人権および個人情報保護に関すること。
- ⑤知的所有権に関すること。
- ⑥その他

3－3 委員会は専門委員の中から管理者が任命する者をもって構成する。

- ①委員会には、部長（管理者）、委員長（責任者）を置く。
- ②部長は、委員を招集し、委員会を主宰する。
- ③委員長は、部長を補佐し、部長が不在の場合に、その職務を代理する。

（不正進入および改ざん等に対応）

4－1 管理者は、ホームページのセキュリティを確保する。

（個人情報。知的所有権の保護）

5－1 ホームページに情報を掲載する場合は、人権、個人情報、著作権等の知的所有権の保護等に十分注意する。

（ホームページ上に掲載する情報）

6－1 ホームページ上に掲載する情報は、次のものとする。

- ①専門部要覧
- ②大会結果
- ③段級審査会
- ④その他剣道に関すること

附則

この規則は、平成16年5月1日から施行する。

埼玉県高体連主催剣道大会における個人情報
及び肖像権に関わる取り扱いについて

埼玉県高等学校体育連盟
剣 道 専 門 部

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部は、大会参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下の通り対応します。

1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- (1) 作成が許可されている競技の大会プログラムに掲載します。
- (2) 競技会場でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

2 競技結果（記録）等の取り扱い

- (1) 各専門部の報道・記録係を通じて公開されます。
- (2) 認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (3) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、大会本部が作成する大会報告書（以下「報告書」という。）に掲載されます。
- (4) 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降に作成が許可されている競技の大会プログラムに掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取り扱い

- (1) 認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放映されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
- (3) このほか、埼玉県高等学校体育連盟の許可にもとづき、記念写真等が販売されることがあります。

4 各専門部としての対応について

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 参加申込書の提出により、上記の取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
- (3) 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部委員長まで御連絡下さい。

問い合わせ先

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部
委員長 津 坂 宗 秀（県立与野高等学校）
〒338-0004 さいたま市中央区本町西2-8-1
TEL 048-852-4505（代表）
FAX 048-840-1046

令和4年・令和5年度 埼玉県高体連剣道専門部役員

(50音順)

専門部長	吉澤 修(越 生)		
専門副部長	森田 智裕(坂 戸) 保坂 武志(埼 玉 栄)		
専門委員長	津坂 宗秀(与 野)		
専門副委員長	勝間 健(越 谷 南)： 東部支部委員長 山本 隆浩(川 越)： 西部支部委員長 蒔田 正人(埼 玉 栄)： 南部支部委員長 森 俊 幸(深 谷 商 業)： 北部支部委員長		
常任委員	浅野 猛(久喜工業) 伊与田 毅(浦 和 北) 上田 伸一(川 越 南) 上野 翔大(鳩ヶ谷) 後 雄 士(春日部女子) 梅 澤 誠(熊 谷 商 業) 小野 秀樹(蕨) 勝間 健(越 谷 南) 木村 篤史(鴻 巣) 倉成 俊之(羽生第一) 栗原 洋右(川 口 市 立) 小久保 聡(鴻 巣) 小島 武文(久喜北陽) 小林 一平(深 谷 第 一) 金野 裕二(山 村 学 園) 斉藤 純一(越 谷 総 合) 清水 千聖(星 野) 杉山 栄樹(秀 明) 関河 諒(寄居城北) 関根 龍一(ふじみ野) 竹内 佑樹(松 山) 竹田 宏樹(埼 玉 栄) 田中 隆宏(春 日 部 工) 千島 貴弘(深 谷 第 一) 長野 成吾(朝 霞) 早川 周一(久喜北陽) 平井 健輔(淑 徳 与 野) 福田 克実(秀 明 英 光) 藤林 洋平(志 木) 古井 秀明(川 越 工 業) 蒔田 正人(埼 玉 栄) 山口 雅之(熊 谷 工 業) 山本 隆浩(川 越)		
高校剣道連盟役員	中阪 絹子(越 谷 西) 森田 一成(浦 和)		
剣道専門部会計	加藤 太一(市 立 浦 和) 山 田 亘(鶴ヶ島清風)		
総務部 (9名)	◎山口 雅之(熊 谷 工 業) ○加藤 太一(市 立 浦 和) 上野 翔大(鳩ヶ谷) 梅 澤 誠(熊 谷 商 業) 小久保 聡(鴻 巣) 斉藤 純一(越 谷 総 合) 中阪 絹子(越 谷 西) 古井 秀明(川 越 工 業) 山 田 亘(鶴ヶ島清風)		
指導普及部 (7名)	◎杉山 栄樹(秀 明) ○早川 周一(久喜北陽) 木村 篤史(鴻 巣) 倉成 俊之(羽生第一) 小島 武文(久喜北陽) 小林 一平(深 谷 第 一) 田中 隆宏(春 日 部 工)		
競技部 (9名)	◎上田 伸一(川 越 南) ○勝間 健(越 谷 南) 後 雄 士(春日部女子) 小野 秀樹(蕨) 関河 諒(寄居城北) 関根 龍一(ふじみ野) 千島 貴弘(深 谷 第 一) 長野 成吾(朝 霞) 福田 克実(秀 明 英 光)		
強化部 (12名)	◎栗原 洋右(川 口 市 立) ○平井 健輔(淑 徳 与 野) 浅野 猛(久喜工業) 伊与田 毅(浦 和 北) 金野 裕二(山 村 学 園) 清水 千聖(星 野) 竹内 佑樹(松 山) 竹田 宏樹(埼 玉 栄) 藤林 洋平(志 木) 蒔田 正人(埼 玉 栄) 森田 一成(浦 和) 山本 隆浩(川 越)		

令和5年・6年度 埼玉県剣道連盟加盟団体高校剣道連盟役員

加盟団体	吉澤 修(越 生)
評議	吉澤 修(越 生)
理事	森田 智裕(坂 戸)
事務局	森田 一成(浦 和)
会長	中阪 絹子(越 谷 西)
監事	小久保 聡(鴻 巣) 上野 翔大(鳩ヶ谷)

令和5年度 県内大会予定表

大会名		開催期日	会場名	試合形式	申込み方法	顧問会議期日	会議会場
支部大会 (各支部主催)	東部	4月22日(土) 4月23日(日)	各地区の大会要項 を確認	県立吉川美南高校 県立吉川美南高校	トーナメント戦	顧問会議に 直接申込み	各地区の大会要項 を確認
	西部	4月22日(土) 4月23日(日)		県立鶴ヶ島清風高校 県立日高高校	トーナメント戦	顧問会議に 直接申込み	
	南部	4月22日(土) 4月23日(日)		県立大宮東高校 川口市立高校第2校地	トーナメント戦	顧問会議に 直接申込み	
	北部	4月22日(土) 4月23日(日)		県立皆野高校 県立皆野高校	トーナメント戦	顧問会議に 直接申込み	
関東大会県予選会		5月 1日(月) 男女個人 5月 6日(土) 男子団体 7日(日) 女子団体	所沢市民体育館 県立武道館 〃	トーナメント戦 〃 〃	代表者会議に 直接申込み	4月26日(水) 顧問総会(専門委員 会)を兼ねる	県立 武道館
学校総合体育大会 兼全国総合体育大会 県予選会		6月13日(火) 男女個人 6月20日(火) 男子団体 21日(水) 女子団体	所沢市民体育館 県立武道館 〃	トーナメント戦 トーナメント戦 トーナメント戦	個人、団体と も代表者会議 に直接申込み	6月 6日(火)	県立 武道館
支部新人大会 (各支部主催)	東部	11月5日(日)	県立久喜工業高校	トーナメント戦	郵送申込み	責任抽選	
	西部	11月5日(日)	県立日高高校	トーナメント戦	郵送申込み	責任抽選	
	南部	11月4日(土)	県立浦和高校	トーナメント戦	春季大会同様	未定	未定
	北部	11月5日(日)	寄居町総合体育館	トーナメント戦	郵送申込み	責任抽選	
埼玉県剣道大会 (主催 埼玉県剣道連盟)		11月13日(月)	県立武道館	個人戦 トーナメント戦	郵送申込み	責任抽選	なし
新人大会 兼県民総合体育大会		令和6年 1月15日(月) 男子団体 16日(火) 女子団体	県立武道館 〃	トーナメント戦 〃	顧問会議に 直接申込み	1月11日(木)	スポーツ 総合セン ター

令和5年度 県内行事・県外大会予定表

	行 事 名	開 催 期 日	会 場 名	備 考
県 内 行 事	顧問総会（専門委員会） （関東県予選代表者会議）	4月26日（水）	県立武道館第2道場	
	1級審査会	6月25日（日） 10月22日（日）	県立スポーツ総合センター 県立スポーツ総合センター	
	段位審査会	8月21日（月） 1月 7日（日）	県立武道館 県立武道館	
	剣道講習会	8月 8日（火）	秀明栄光高校	
県 外 大 会	関東大会	6月 2日（金） ～ 4日（日）	千葉県千葉市 千葉ポートアリーナ	
	全国総合体育大会	8月 3日（木） ～ 6日（日）	北海道帯広市 よつ葉アリーナ十勝（帯広市総合体育館）	
	国体関東ブロック予選	8月20日（日）	埼玉県上尾市 県立武道館	
	特別国体（国民体育大会）	10月 8日（日） ～ 10日（火）	鹿児島県霧島市 霧島市牧園アリーナ	
	全国選抜大会	令和6年 3月26日（火） ～28日（木）	愛知県春日井市 春日井市総合体育館	

令和5年度 大会役員表

50音順

1	大会会長	白吉	倉澤	克典	(浦和)	:	高体連	会長
2	大会副会長	山本	隆正	幸克	(深谷商業)	:	専門部	委員長
3	大会副委員長	森田	俊義	智武	(埼玉栄)	:	東部支部	委員長
4	大会副委員長	原上	田加	藤本	(市立浦和)	:	西部支部	委員長
5	審判長	染新	葉井	幸義	枝久	(熊谷北)	:	専門部副部長
6	副審判	石井	和彰	翔大	(鳩ヶ谷北)	:	専門部副部長	
7	大会副委員長	上野	原剛	秀樹	(久喜第一)	:	競技部部長	
8	審判員	小川	久藤	敏行	(川越女子)	:	競艇部部長	
9	競技役員	岡小	正慶	二雅	(入間向陽)	:	競艇部部長	
10	運営委員	相阿	伊東	遠藤	小村	(本美佐)	:	競艇部部長
11	救護	那須	健司	(城北埼玉)	:	競艇部部長		

* 上記大会役員の先生方は、すべての大会運営にご協力をお願いします。
 * 大会当日に欠席される場合は、事前に 後 雄士先生（春日部女子高校）まで連絡して下さい。

令和5年度 埼玉県高体連剣道専門部常任・専門委員表

常任委員会出席対象者

50音順

		総務部								31名			
東部支部	8名	遠藤 実穂 (開智未来)	小谷 遥 (草加西)	小松 知生 (吉川美南)	斉藤 純一 (越谷総合)	中阪 綱子 (越谷西)	楡井 英征 (鷺宮)	若山 凌佑 (羽生第一)	渡部 文弘 (草加)				
西部支部	6名	青山 洸 (西武台)	大隈 正平 (東野)	小針 雅弘 (川越女子)	田中 絃貴 (山村国際)	古井 秀明 (川越工業)	山田 亘 (鶴ヶ島清風)						
南部支部	7名	上野 翔大 (鳩ヶ谷)	小口 香織 (浦和南)	加藤 太一 (市立浦和)	穴戸 惣亮 (川口青陵)	嶋村 元太郎 (浦和)	土屋 政裕 (上尾鷹の台)	藤田 光博 (大宮)					
北部支部	10名	安藤 万由 (本庄)	井上 彰博 (秩父農工科)	梅澤 誠 (熊谷商業)	倉島 潤 (東農大三)	小久保 聡 (鴻巣)	高橋 舞 (成徳深谷)	長谷川 佑久 (熊谷)	持田 和重 (進修館)				
		森 俊幸 (深谷商業)	山口 雅之 (熊谷工業)										
(競技部)												46名	
東部支部	11名	石井 浩三 (春日部東)	岩崎 竜大 (草加南)	後 雄士 (春日部女子)	勝間 健 (越谷南)	金森 大和 (不動岡)	小井 将司 (三郷)	杉本 帆 (昌平)	高野 季也 (春日部)				
		松井 俊之 (越谷東)	吉河 孝幸 (越谷南)	和田 光史 (杉戸)									
西部支部	16名	上田 伸一 (川越南)	小川 まなみ (朝霞西)	小林 彩香 (川越女子)	小仁熊 康行 (川越東)	関根 龍一 (ふじみ野)	大門 健身 (市立川越)	高木 由美子 (坂戸西)	田中 達也 (日高)				
		津久井 未来 (ふじみ野)	仲 涼太郎 (入間向陽)	長野 成吾 (朝霞)	中山 貴弘 (川越女子)	藤森 祐一 (山村国際)	丸山 雄治 (狭山ヶ丘)	室岡 慶彦 (所沢中央)	渡辺 博英 (所沢北)				
南部支部	11名	染葉 幸枝 (上尾)	新井 洸 (川口青陵)	小野 秀樹 (蕨)	金子 信昭 (伊奈学園)	萩原 健太 (栄東)	林 信一 (いずみ)	福田 克実 (秀明英光)	本郷 利枝 (秀明英光)				
		本間 寛明 (岩槻)	八木 健太郎 (浦和学院)	渡辺 周一 (岩槻北陵)									
北部支部	8名	新井 義久 (熊谷西)	池田 武 (皆野)	篠崎 泰聡 (滑川総合)	関河 諒 (寄居城北)	高山 智裕 (熊谷)	武井 政聡 (児玉)	千島 貴弘 (深谷第一)	野沢 岳志 (本庄東)				
強化部												22名	
東部支部	6名	浅野 猛 (久喜工業)	石井 均 (越谷北)	大場 千恵 (栗橋北彩)	金子 優香理 (久喜)	栗田 幸枝 (春日部東)	前田 美穂 (三郷工技)						
西部支部	5名	泉 英毅 (ふじみ野)	金野 裕二 (山村学園)	清水 千聖 (星野)	藤林 洋平 (志木)	山本 隆浩 (川越)							
南部支部	7名	泉 和毅 (川口北)	伊与田 毅 (浦和北)	栗原 洋右 (川口市立)	竹田 宏樹 (埼玉栄)	平井 健輔 (淑徳与野)	蒔田 正人 (埼玉栄)	森田 一成 (浦和)					
北部支部	4名	菊地 道隆 (桶川)	竹内 佑樹 (松山)	田中 和弥 (本庄第一)	永久 貴子 (本庄第一)								
指導普及部												29名	
東部支部	10名	倉成 俊之 (羽生第一)	小島 武文 (久喜北陽)	高橋 香 (春日部)	高橋 博貴 (春日部工業)	竹内 佳澄 (越谷西)	田中 隆宏 (春日部工)	長 武範 (草加南)	土屋 航大 (春日部)				
		永野 雅大 (不動岡)	早川 周一 (久喜北陽)										
西部支部	7名	板垣 裕一 (川越工業)	岩田 靖史 (新座柳瀬)	大橋 剛男 (武蔵越生)	杉山 栄樹 (秀明)	関谷 正文 (富士見)	杼原 大貴 (西武文理)	星野 雅俊 (西武文理)					
南部支部	7名	浅岡 宏二 (武南)	小田 寛人 (浦和実業)	木村 文憲 (上尾)	高橋 揺衣 (開智中高)	土田 毅 (浦和工業)	直井 孝義 (大宮南)	松崎 慶喜 (大宮開成)					
北部支部	5名	小原 啓雅 (成徳深谷)	木村 篤史 (鴻巣)	小林 一平 (深谷第一)	近藤 毅 (熊谷女子)	坂本 美佐子 (皆野)							

令和5年度 競技部 役割分担一覧表

*印は他部と兼務

係			常任委員	専門委員				役員生徒
代表者会議	受付	男 子	千島 貴弘	室岡 慶彦 大門 健身 林 信一 丸山 雄治				
		女 子	長野 成吾	津久井 未来 小川 まなみ 本間 寛明 杉本 帆				
	抽選	男子(団体)	小野 秀樹	高山 智裕 仲 涼太郎 田中 達也 萩原 健太 岩崎 竜大				
		女子(団体)	関河 諒	藤森 祐一 小林 彩香 篠崎 泰聡 小井 将司 武井 政聡				
		男女個人	松井 俊之 関根 龍一	(競技部責任抽選)				
	プログラム	男 子	上田 伸一	*梅澤 誠 *古井 秀明				
女 子		和田 光史 高野 季也						
本大会	式典	開閉会式 司会進行	関河 諒	福田 克実				
			関根 龍一					
	広報	報道関係	上田 伸一	高野 季也 *小針 雅弘				
	試合	試合進行	上田 伸一	小川 まなみ 小林 彩香 (各試合場審判主任)				
		審判割当	勝間 健 後 雄士 福田 克実	(審判委員会)				
		補助役員指導	松井 俊之 福田 克実	高山 智裕 藤森 祐一 室岡 慶彦 石井 浩三 (会場作成・復帰係)				
		試合審判用具 用具購入	松井 俊之 長野 成吾	高野 季也				
		検量	検 量	小野 秀樹	岩崎 竜大 篠崎 泰聡 武井 政聡 小仁熊 康行 津久井 未来 本郷 利枝 杉本 帆 渡辺 博英			
	会場	入場指導	千島 貴弘	田中 達也 中山 貴弘 大門 健身 仲 涼太郎 池田 武 吉河 孝幸 小井 将司 八木 健太郎				
		駐車場整理	千島 貴弘	金子 信昭				
		救護	上田 伸一	小川 まなみ				
		立入禁止区域設置	関河 諒	染葉 幸枝				
		会場調整	上田 伸一	勝間 健				
		会場手続	福田 克実	小野 秀樹				
	会場作成復帰	ラインテープ指導	松井 俊之 福田 克実	高山 智裕 藤森 祐一 萩原 健太 本間 寛明 小井 将司 和田 光史 野沢 岳志 新井 洸 新井 義久 室岡 慶彦 渡辺 周一 丸山 雄治 金森 大和				
		放送式典準備	福田 克実	関根 龍一 関河 諒 小川 まなみ 小林 彩香				
清掃指導	観覧席 フロアー 1階通路・階段 2階通路・玄関 第1道場(柔道場) 第2道場(剣道場) 1階トイレ 2階トイレ 会議室 館 外	勝間 健 *山本 隆浩 *蒔田 正人 *森 俊幸	各支部競技部専門委員				各校生徒	
			関 東 予 選 男 女 個 人		5月1日	西部支部		
			関 東 予 選 男 子 団 体		5月6日	東部支部		
			関 東 予 選 女 子 団 体		5月7日	南部支部		
			全 国 高 校 総 体 男 女 個 人		6月13日	西部支部		
			全 国 高 校 総 体 男 子 団 体		6月20日	北部支部		
			全 国 高 校 総 体 女 子 団 体		6月21日	東部支部		
			高 校 新 人 大 会 男 子 団 体		1月15日	北部支部		
			高 校 新 人 大 会 女 子 団 体		1月16日	南部支部		
			*埼玉県剣道大会11/13(月)についてはプログラム掲載					

令和5年度 第70回 関東高等学校剣道大会県予選会要項

1. 日 時 令和5年5月1日(月) 男女個人・決勝<所沢市民体育館>
 会場作成役員・補助役員集合(会場準備) 8:00
 選手入場・受付開始(顧問) 9:00
 審判員打ち合わせ 9:30
 受付終了 9:45
 開会式 10:00
 試合開始予定 10:20
 表彰・閉会式予定 17:00
 令和5年5月6日(土) 男子団体・決勝<県立武道館>
 会場作成役員・補助役員集合(会場準備) 8:00
 選手入場・受付開始(顧問) 8:50
 審判員打ち合わせ 9:30
 受付終了 9:45
 開会式 10:00
 試合開始予定 10:20
 表彰式予定 17:00
 令和5年5月7日(日) 女子団体・決勝<県立武道館>
 会場作成役員・補助役員集合(会場準備) 8:30
 選手入場・受付開始(顧問) 8:50
 審判員打ち合わせ 9:30
 受付終了 9:45
 開会式 10:00
 試合開始予定 10:20
 表彰式予定 16:00
2. 会 場 所沢市民体育館(個人戦) Tel.04-2991-1181
 埼玉県立武道館(団体戦) Tel.048-777-2400
3. 試合方法 <団体戦> 男女ともにトーナメントとする。
 男女とも上位7校を関東大会(千葉県開催)の埼玉県代表とする。
 男女とも1~4位順位決定戦及び7位決定戦を行う。
 <個人戦> 男女ともにトーナメントとする。
 男女とも上位6名を関東大会(千葉県開催)の埼玉県代表とする。
 男女とも1~4位順位決定戦を行う。
※男女とも上位4名はインターハイ予選にシード選手として、無条件で出場できる。
※女子の1位選手は全日本都道府県対抗女子剣道大会の候補選手とする
 竹刀に記名(氏名・学校名)のないものは、検量を行わない。
4. 検 量 (公財)全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」・「剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則」・「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」並びに(公財)全国高体連剣道専門部「申し合わせ事項」による。
5. 試合規則
6. 試合時間 <団体戦> 4分三本勝負・引き分けとする。
 <個人戦> 4分三本勝負とし、延長戦になった場合は4分で区切り、勝敗が決するまで行う。
7. 表 彰 1位~5位(団体・個人)
8. 参加制限 <団体戦> (男子)新人大会上位62校及び支部大会で出場権を獲得した
 下表の通り34校の計96校。

	東部	西部	南部	北部	計
男子	7	11	10	6	34

 (女子)新人大会上位49校及び支部大会に出場した学校全て。
 <個人戦> 下表のとおりとする。

	東部	西部	南部	北部	推薦	計
男子	32	52	40	28	1	153
女子	28	36	28	20		112
9. 抽 選 ※個人戦の抽選については、競技部が責任抽選する。
10. シード権 <団体戦> 前年度新人大会上位16校をシードする。
 <個人戦> 各支部上位4名をシードする。
11. 代表者会議(顧問総会) 4月26日(水) 県立武道館 第2道場(剣道場)
 13:10 受付開始
 13:40 受付終了
 13:45 開会
12. その他 競技役割分担は前年度でお願いします。

令和5年度 関東高等学校剣道大会県予選会個人戦 実施方法および抽選要項

1. 実施方法

【支部大会】

- ・各学校より男女4名ずつ選手を出し、トーナメント方式で決勝戦まで実施する。
- ・試合時間は4分とし、延長戦となった場合は4分で区切り、勝敗が決するまで行う。
- ・男女とも各支部県大会出場者は下表のとおりとする。

(毎年、出場者数は常任委員会で決定する)

	東部	西部	南部	北部	推薦	計
男子	32	52	40	28	1	153
女子	28	36	28	20	—	112

*推薦とは前年度埼玉県剣道大会男子優勝者（全日本都道府県対抗男子出場者）である。

*各支部大会上位4名を県大会時にシードとする。

尚、推薦1名を含む支部においてのシードの扱い方は常任委員会で決定されたとおりとする。

- ・令和4年度埼玉県剣道大会の上位16名の選手・国体候補選手は、令和5年度4月の各支部予選ではシードとする。（シードの扱いは下位で対戦しないように考慮する）
- ・申し込みは所定の申し込み用紙により、各支部の顧問会議の際に提出する。
- ・選手変更届（剣道専門部要覧添付）は特別な事由のない限り許可しない。
- ・組み合わせ抽選は各支部に一任する。（県大会に準ずる）
- ・各支部の県競技部常任委員は、支部大会の結果を報告する。
(確認表を作成し、申し込み時の確認用とする)

【県大会】

- ・関東大会予選の代表者会議を**4月26日（水）**に実施する。その際、個人戦の各支部予選通過者のいる学校の顧問は、所定の申し込み用紙にて申し込む。
- ・選手変更届は、いかなる場合においても許可しない。
- ・抽選方法は、競技部による責任抽選とする。

☆全国大会個人予選では、関東大会個人予選のベスト16以内の選手をシードとする...

2. 抽選方法

- ①関東大会に、同一校より最大限4名が出場できるように組み合わせる。
- ②シードの分配は、県新人大会と同じ方法とする。（各支部の順位のみ考慮する）
- ③組み合わせ抽選は、競技部の責任抽選とする。

3. 抽選手順

- ①各支部1位の選手の抽選（男子は推薦選手が抽選番号「1」とする）
 - ②2位、3位選手の順で抽選および分配
 - ③シード選手が4ブロックに振り分けられているか確認
 - ④シード選手と同じ学校の選手の抽選および分配
(2名の場合は決勝まで、3名以上の場合は準決勝まで対戦しないよう配慮する)
 - ⑤シード選手がいる学校の選手が振り分けられているか確認
 - ⑥シード選手がいなく、同一校より複数出場している選手の抽選および分配
(2名の場合は決勝まで、3名以上の場合は準決勝まで対戦しないよう配慮する)
 - ⑦1校より1名出場している選手の抽選
- ※分配とはブロックを振り分けること

**令和5年度 第70回学校総合体育大会
兼全国高等学校総合体育大会県予選会要項**

1. 日 時

令和5年6月13日（火）	男女個人・決勝＜所沢市民体育館＞	
会場作成役員・補助役員集合（会場準備）		8：00
選手入場・受付開始（顧問）		9：00
審判員打ち合わせ		9：30
受付終了		9：45
開会式		10：00
試合開始予定		10：20
表彰・閉会式予定		17：00
令和5年6月20日（火）	男子団体・決勝＜県立武道館＞	
会場作成役員・補助役員集合（会場準備）		8：00
選手入場・受付開始（顧問）		8：50
審判打ち合わせ		9：30
受付終了		9：45
開会式		10：00
試合開始予定		10：20
表彰・閉会式予定		17：00
令和5年6月21日（水）	女子団体・決勝＜県立武道館＞	
会場作成役員・補助役員集合（会場準備）		8：30
選手入場・受付開始（顧問）		8：50
審判打ち合わせ		9：30
受付終了		9：45
開会式		10：00
試合開始予定		10：20
表彰・閉会式予定		16：00
2. 会 場

所沢市民体育館（個人戦）	Tel04-2991-1181
埼玉県立武道館（団体戦）	Tel048-777-2400
3. 試合方法

団体・個人戦（各校男女各2名）。ともにトーナメントとする。
男女とも団体戦優勝校・個人戦上位2名は全国大会（北海道）の埼玉県代表とする。
4. 検 量

竹刀に記名（氏名・学校名）のないものは、検量を行わない。
5. 試合規則

（公財）全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」・「剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則」・「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」並びに（公財）全国高体連剣道専門部「申し合わせ事項」による。
6. 試合時間

＜団体戦＞ 4分三本勝負・引き分けとする。
＜個人戦＞ 4分三本勝負とし、延長戦になった場合は4分で区切り、勝敗が決するまで行う。
7. 表 彰

1位～3位
8. 参加制限

個人戦については関東予選会ベスト4に入った選手は無条件で出場でき、シード選手とする。
9. シード権

団体戦については関東予選会上位16校をシード校とする。
個人戦については関東予選会上位16名をシード選手とする。
（個人戦は競技部による責任抽選を実施する）
10. その他

・合同チームについては大会申し合わせのとおりである場合は許可をし、参加を認める。
11. 代表者会議

6月6日（火）県立武道館 第1道場（柔道場）	
13：10	受付開始
13：40	受付終了
13：45	開会

第68回 埼玉県剣道大会（高等学校の部）要項

1. 日 時 令和5年11月13日（月） 男女個人戦・決勝
2. 会 場 埼玉県立武道館 TEL048-777-2400
3. 主 催 （公財）埼玉県剣道連盟 埼玉県高等学校体育連盟
4. 後 援 （公財）全日本剣道連盟 埼玉県教育委員会 埼玉新聞社
5. 主 管 埼玉県高校剣道連盟 埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部
6. 試合区分 （1）男子の部 （2）女子の部
7. 参加資格 及び人員 （1）（公財）埼玉県剣道連盟高校剣道連盟会員であること
（2）各校 男子、女子各2名（1・2年生が望ましい）
8. 試合規則 （公財）全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」・「剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則」・「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」並びに（公財）全国高体連剣道専門部「申し合わせ事項」による。
9. 試合方法 各校男女各2名による個人トーナメント戦。
※男女とも上位16名を、次年度の支部大会個人戦のシード選手とする。
※男子の1位選手は全日本都道府県対抗剣道大会の候補選手とする。
10. 検 量 竹刀に記名（氏名・学校名）のないものは、検量を行わない。
11. 試合時間 4分三本勝負とし、延長戦になった場合は4分で区切り、勝敗が決するまで行う。
12. 表 彰 1位～3位 ベスト8は敢闘賞
13. 申し込み 所定の大会申込書に記入の上、各支部代表へ**郵送申込**とする。
14. 抽 選 抽選は競技部が責任抽選する。
15. シード権 ①国体（関東ブロック）出場選手（含補員）
②令和5年度全国高校総体県予選個人戦上位16名（1・2年生）
③国体候補・強化選手（強化部報告）
④令和5年度関東大会県予選会個人上位16名（1・2年生）
16. 予定時間 会場作成役員・補助役員集合（会場準備） 8：00
選手入場・受付開始（顧問） 9：00
審判員打ち合わせ 9：30
受付終了 9：45
開会式・公開演武 10：00
試合開始予定 10：40
表彰・閉会式予定 17：00
※ 受付は必ず顧問が行う。（受付の際に個人戦の個票を提出する）
17. そ の 他 武道館の駐車場の利用は、役員・審判員に限る。
※開会式・表彰式次第は別途配布のプログラム参照

**令和５年度 県民総合スポーツ大会兼
第７０回（女子第５３回）埼玉県高等学校剣道新人大大会要項**

1. 日 時

令和６年１月１５日（月） 男子団体・決勝	
会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	８：００
選手入場・受付開始（顧問）	８：５０
審判打ち合わせ	９：３０
受付終了	９：４５
開会式	１０：００
試合開始予定	１０：２０
表彰・閉会式予定	１７：００
令和６年１月１６日（火） 女子団体・決勝	
会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	８：３０
選手入場・受付開始（顧問）	８：５０
審判員打ち合わせ	９：３０
受付終了	９：４５
開会式	１０：００
試合開始予定	１０：２０
表彰式予定	１６：００
2. 会 場

埼玉県立武道館	TEL048-777-2400
---------	-----------------
3. 試合方法

男女ともに団体戦トーナメント（フリーオーダー制）
 男女とも優勝・（準優勝）校を全国選抜大会（愛知県）の埼玉県代表とする。
 男女とも上位６４校は次年度の関東大会県予選会の出場権を得る。
 男女とも上位１６校は次年度の関東大会県予選会のシード権を得る。
4. 試合規則

（公財）全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」・「剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則」・「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」並びに（公財）全国高体連剣道専門部「申し合わせ事項」による。
5. 試合時間

４分三本勝負・引き分けとする。
6. 検 量

竹刀に記名（氏名・学校名）がないものは、検量を行わない。
7. 表 彰

１位～３位 （スポーツ協会表彰１位～３位）
8. シード権

各支部大会の上位４校（計１６校）
 ※シード校が１ブロックに東西南北に分かれるように抽選し、なおかつ
 各支部の１位と２位が決勝まで対戦しないように抽選する。
9. その他

・合同チームについては大会申し合わせのとおりである場合は許可をし、参加を認める。
10. 顧問会議

１月１１日（木）	スポーツ総合センター 講堂
	１３：１０ 受付開始
	１３：４０ 受付終了
	１３：４５ 開会

埼玉県高等学校剣道専門部 大会申し合わせ事項

1. 武道館の利用について

- ①深夜・早朝（午前8時以前）の来館を禁止する。
- ②選手・応援の生徒は2階観客玄関を利用する。（それ以外は利用できない）
- ③各学校で靴袋や傘袋等を用意し、必ず袋に入れて管理する。
（そのまま館内に持ち込まない）
- ④ゴミはすべて持ち帰りとし、館内の美化・清掃に心がけお互いに気持ち良く利用する。
- ⑤応援は2階観覧席のみでおこなう。大会役員・引率教員・選手以外は1階に降りない。
- ⑥1F事務室付近には出入りしない。
- ⑦道場以外での練習は禁止する。
- ⑧外へは絶対裸足で出ない。また、2階剣道場以外での準備体操・素振は厳禁とする。
- ⑨武道館のスリッパは役員以外の利用はしない。
- ⑩キャスター付き防具袋は、館内ではキャスターを使用しない。
- ⑪飲食は、2F観覧席・選手ラウンジ・中庭のみとする。また、試合会場内には飲み物を持ち込まない。（中庭の渡りは土足禁止、石畳上は下足使用となる）
- ⑫武道館駐車場は大会役員以外の利用禁止とする。役員以外は水上公園の駐車場を利用。
- ⑬武道館敷地内は、喫煙所以外はすべて禁煙である。
- ⑭武道館利用規則を遵守すること。

2. 応援席、更衣について

- ①2F観覧席や通路に荷物等を置かない。（場所取りの禁止）
また、1校が多数を独占したりしないで、お互いに譲り合う。
- ②男子は2階観覧席で更衣をする。
- ③女子の更衣については剣道場を使用する。
（施設の利用状況によっては他の場所を使用する場合もある）

3. 盗難・忘れ物防止について

- ①更衣後の荷物・貴重品は整理して各校で管理する。
- ②貴重品ロッカーを必ず活用する。
- ③退館する際に忘れ物がないかどうか必ず確認する。
- ④持ち物には必ず記名しておく。

4. 申し込みについて

- ①各種申込書は、高体連剣道専門部のホームページ(<http://saitama.koutairenkendo.jp/>)の中にある申込書をダウンロードして使用する。（A4版）
- ②校長印のないものは受け付けない。
- ③人数不足（3・4名）の大会申込書、オーダー表は以下のように書く。
 - ・3名の場合→（中堅、副将、大将）
 - ・4名の場合→（次鋒、中堅、副将、大将）
- ④関東大会・全国大会ともに、人数不足での出場も可能

5. 受付、選手交代について

- ①受付は開会式前までに、顧問がオーダー表（団体戦）・個票（個人戦）を各試合場の補助役員に提出して行う。

◎オーダー表＝模造紙1/4（下図参照）

◎個票＝A 4 コピー用紙

←	79.0cm	→
↑		↓
27.5cm		

学校名

先 次 中 副 大
鋒 鋒 堅 将 将

※

名

字

（学 校 名）

（注意）
個票提出の際は※印の欄に第1試合の試合場及び通し番号を記入する。

◎個人戦個票は剣道専門部のホームページよりダウンロードして使用する。

- ②選手と補欠の交代は、各試合場の審判主任に申し出る。交代した選手は以後出場できない。
- ③団体戦において人数不足のチーム（3、4名）と対戦する場合、人数の多いチームの監督はオーダー順を変えず（新人大会以外）に対戦選手を選び、前の試合の中堅戦までに審判主任に申告する。

6. 選手変更・追加登録について

- ①大会申し込み後に、選手・補欠が怪我や急病のためやむなく大会に出場できなくなった場合に限り、選手変更・追加登録ができる。
- ②選手変更は所定の選手変更届を提出する。原則として校長印のないものは受け付けない。高体連剣道専門部のホームページ(<http://saitama.koutairenkendo.jp/>)の中にある選手変更届をダウンロードして使用する。（A 4 版）
- ③選手変更届は大会当日、大会本部（競技部長）に提出する。委員長と競技部長の協議の上、大会本部（競技部長）から各試合場の審判主任に報告する。
- ④選手変更する場合、参加申込時の選手5名補欠3名に対し、新たな選手を入れる場合は、補欠を飛び越して選手と直接変更することはできない。
正選手を交代する場合、まず、補欠選手を正選手と交代し、変更選手を補欠に入れる。また、順位の変更は認めない。ただし、変更・追加する選手は申込時の補欠の人数分（最大限3名まで）とする。

7. 棄権連絡について

- ①大会申し込み後に棄権する場合は、必ず剣道専門部委員長に連絡を入れる。
（支部大会においては各支部委員長に連絡をする）
- ②当日やむを得ず棄権する場合は、大会本部（競技部長）に連絡する。
大会本部（競技部長）より各試合場審判主任に報告する。

8. 試合について

- ①竹刀は整備されたものを使用し、安全点検を励行する。また、竹刀は適正なものを使用する。（先革にテープが巻いてあるもの、つばの先に柄革が余っているもの、先が異常に細いものは使用できない。検量に合格していない竹刀や、異物が入っている竹刀を使用した場合は、反則負けになる）
- ②サポーター等の使用は医療上必要と認める場合に限り、見苦しくない範囲で認める。
足底用サポーターは、皮・ゴムを使用しているものは不可、布は許可する
- ③名札（黒または濃紺地に白文字、学校名・氏名）を必ず着用する
※2枚重ねの場合は必ず2・3箇所縫いつける（安全ピンは不可）。なお、手書きの場合は消えないもので書くこととする。（できていない場合は出場不可）
- ④赤白目印は長さ70cm、幅5cmとする（極端に基準を越えないものは認める）

- ⑤面紐の長さは、結び目より40cm以内とする（長い場合はその場で切る）
- ⑥ストップウォッチ類の試合場への持込みを禁止する。
- ⑦円陣・胴突き・握手・声援・試合場での監督指示は禁止する。
- ⑧声援が多い場合は、各試合場の審判主任が監督または選手・応援団に注意する。
- ⑨会場内でのフラッシュ撮影は禁止する。また、1階でのビデオ撮影は危険を伴ったり、試合進行の妨げになるので禁止する。
（iPhone、iPad、スマートフォン等での動画撮影も1階では禁止とする。）
- ⑩試合進行の変更等は、本部とトランシーバーで連絡をとりあい円滑に行う。

9. 勝敗（団体戦）について

- ①団体戦の勝敗は、まず勝者数で決める。
- ②勝者数が同じ場合は、取得本数で決める。
- ③勝者数と取得本数が同じ場合は、任意の代表者による代表者戦を行う。
- ④代表者戦は4分1本勝負とし、勝敗の決しない場合は勝敗の決するまで延長戦を行う。

10. 人数不足のチームの試合方法について

- ①埼玉県高体連剣道専門部の試合規則として以下のように定める。
団体戦において3名で大会に出場する場合には、中堅・副将・大将に選手を、4名で出場の場合は次鋒・中堅・副将・大将に選手を配し、相手チームの任意の選手と順次対戦する。3名のチームは相手の先鋒・次鋒に2本を与え不戦負けとし、4名のチームは相手の先鋒に2本を与え不戦負けとする。
また、大会申し込み後に選手が怪我や急病のためやむなく大会に出場できなくなった場合も同様とする。ただし、**新入大会以外**は出場順を変えることはできない。
関東大会・全国大会ともに人数不足のチーム（3・4名）でも出場は可能
- ②3・4人で出場するチームの中堅は、面を着けずに整列する。
- ③追加登録（上限3名まで）する場合は、大会本部（競技部長）に選手変更届を提出する。

11. 顧問（監督・コーチ等）の申し合わせ

- ①顧問（監督・コーチ等）の服装は、背広・ネクタイの着用を原則とする。
（剣道着・袴も可とする）
- ②顧問（引率責任者）は出場校の教諭とし、監督（コーチ）は出場校の教職員または学校長が特に認めた者とする。監督が出場校教諭である場合は、原則として引率者を兼ねる。
また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高体連会長に事前に届け出ること。
- ③試合場（監督席・次回選手席）に入れる者は、顧問（監督・コーチ等）1名と選手・定められた補欠だけで、他の者の入場は厳禁する
- ④監督席では時計の装着は厳禁する

12. 各大会時の男女の入場規制について

男子の大会への女子の応援生徒の入場及び女子の大会への男子の応援生徒の入場は認めない。

13. 各大会時の1階試合会場への入場規制について

- 1階試合場への入場は、選手・顧問（監督・コーチ）・大会役員・補助役員のみとし、IDカードの使用を義務づけることとする。（競技本部で受付、配布・試合終了後返却）
注）顧問（引率責任者）、監督（コーチ）は出場校の教職員または学校長が特に認めた者であり、それ以外は入場を厳禁する。

14. 竹刀の検量について

竹刀の検量で基準に満たなかった竹刀は試合で使用できない。さらに、検量を行っていない竹刀や、不正な竹刀を試合で使用した場合は負けとし、相手に2本を与え、既得本数および既得権を認めない。更に以後の試合に出場できない。

ただし、団体トーナメント戦における補欠の出場は別に定めのない限り認める。

注）以下のような竹刀は検量に合格できない。

- ①記名が確認できないほど柄革が汚れているものや古いもの
- ②竹刀をテープで補修したものや、竹刀の合わせ等の不備なもの
- ③先革がすり減ったものや、破れて先芯が見えているもの
- ④弦が緩んでいるもの
- ⑤中結の位置が、剣先から全長の1/4以外のもの
- ⑥竹刀に記名（氏名・学校名等）のないもの
- ⑦以前の検量シールを貼ってあるもの

※開会式までの検量は一人2本までとする。

15. 竹刀の基準について（一刀の場合）

	性別	高校生（相当年齢の者も含む）
長さ	男女共通	117センチメートル以下
重さ	男性	480グラム以上
	女性	420グラム以上
先皮先端部 太さ	男性	26ミリメートル以上
	女性	25ミリメートル以上
ちくとう 最少直径	男性	21ミリメートル以上
	女性	20ミリメートル以上

16. 部員不足による合同チームについて

- ①合同チームによる大会参加は全国大会県予選・県新人大会・各支部新人大会の出場を認める。
次回参加につながるシード権・出場権は与えない。
- ②合同チームの編成は2名以下の登録部員数の学校である。その際は3校以下とする。
（最大登録選手6名）怪我や初心者等の理由で合同チームを編成することはできない。
- ③合同チームで試合に出場できる選手は3名とし、「**中堅・副将・大将**」とする。
- ④男女団体それぞれにおいて、別々の学校（**原則として同一支部**）と編成することができる。
- ⑤合同チームの名称は、編成する学校の連名とする。
- ⑥合同チームで出場する場合の名札は自校名のものとする。
- ⑦合同チームの監督席には代表顧問1名とする。
- ⑧全国大会県予選については、関東大会県予選に持参するか、郵送によって競技部長に合同チーム編成申請書（様式1-1）を**学校毎に作成し**、提出する。
- ⑨県新人大会については、秋季支部新人大会参加申込時に各支部委員長に合同チーム編成申請書（様式1-2）を**学校毎に作成し**、提出する。
- ⑩剣道専門部競技部会で協議後、常任委員会で承認を得る。
参加が認められた場合は合同チーム大会申込書（HPよりダウンロードする）を
全国大会県予選代表者会議または県新人大会代表者会議に提出する。
- ⑪各支部新人大会については県新人大会と②～⑦のとおりとする。
支部委員長に様式1-2・合同チーム大会申込書を提出し、各支部で協議し、承認を得て参加を認める。必ず支部委員長は競技部長に報告する。

《各試合場用具確認一覧表》 第 試合場

項目	用具	基本数	現在の個数を記入する
旗	審判旗	6組(赤白)	
	タイマー旗	1本(黄旗)	
	監督旗	2本(赤旗)	
標示用具関係	メ	14	
	コ	10	
	ド	8	
	ツ	3	
	反	3	
	○	9	
	▲	10	
	×	10	
	延長	9	
	一本勝	10	
	代表者戦用(白紙)	8	
	選手変更用(白紙)	8	
	審判主任	1枚	
	次回審判員席	1枚	
	時計係	1枚	
	記録係	1枚	
	試合場標示	1枚	
備品類	トランシーバー	1	
	ストップウォッチ	2	
	ホイッスル	1	
	ハサミ	1	
	面紐計測棒	1	
	黒棒マグネット	18	
	オーダー用紙用マグネット	17	
	黒ビニールテープ	1	
	セロテープ	1	
	電池	1	
	マジック	黒・赤(各1)	
	個人・団体記録用紙	試合数	
	人数不足対戦用紙	試合数	

令和5年度

公益財団法人 全国高等学校体育連盟剣道専門部 申し合わせ事項

下記の事項は、公式試合における全国高体連剣道専門部としての統一的な事項である。
特に全国大会（全国高校総体・全国選抜大会）においては、これを厳守することとする。

1 大会参加資格について

- (1) (公財) 全国高等学校体育連盟の定める「全国高校総体開催基準要項の大会参加資格」による。
- (2) (公財) 全国高体連剣道専門部の定める「外国人留学生の出場枠」(下記)による。
 - (イ) 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。
 - (ロ) 在籍校が、各都道府県高体連剣道専門部に加盟していること。
 - (ハ) 年齢は平成16年4月2日以降に生まれた者とする。ただし出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回に限る。
- (ニ) 短期留学は除く。
- (ホ) 上記(イ)から(ニ)の条件を総て満たしている者に限り、以下の出場枠で参加を認める。
 - 団体戦・・・補欠を含めた7名中の2名以内の出場枠とする。
 - 個人戦・・・参加制限をしない。

2 選手心得

- (1) 選手は気品のある態度で全力をあげて試合をする。
- (2) 選手の服装・竹刀・剣道具は、その安全性と公平性が保たれていること。規格外のものを使用したり、華美な装飾や細工等を施したりしないようにする。
- (3) 選手の服装は、紺（黒）または白の剣道着・袴とする。なお、刺繍等により華美にならないこと。
- (4) 試合者の目印に校名などを大きく目立つように入れてはいけない。目印を着ける時は折り返した二枚の長さが揃うように着ける。
- (5) チーム内に同姓がいる場合は、名札に名前の一字を入れるなどして、判別できるようにすること。

3 引率責任者、監督の資格について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者（部活動指導員含む）の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

付記：但し、各都道府県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

4 監督心得

- (1) 監督の服装は、以下の通りとする。
 - (イ) 全国高校総体では、白シャツ、ズボン（白・灰色）または剣道着、袴（色は紺、黒、白のいずれか）とする。
 - (ロ) 全国選抜大会では、スーツ（ジャケット）、ネクタイ、または剣道着、袴（色は紺、黒、白のいずれか）とする。
- (2) 試合場に入ることができるのは、監督・選手・補欠のみとし、他の者の入場は厳禁する。

5 規則の運用及び大会運営について

- (1) 試合はすべて一刀（一本の竹刀）にて行うものとする。二刀にての試合は認めない。
- (2) 全国総体での竹刀検量は、以下の要領で行う。
 - (イ) 監督の責任において検量本数を「竹刀検量申請書」により申請する。
 - (ロ) 事前に申請する竹刀の本数は選手一人当たり 3 本以内とする。
 - (ハ) 全国総体においては、竹刀検量において規格外等により不合格となった竹刀を一時預かり、当該選手が所属する団体及び当該選手の試合が終了後返却する。
- (ニ) 大会期間中、破損等による追加の申請は破損した竹刀を持参のうえ「竹刀検量【追加】申請書」により申請する。
- (3) 不正用具を使用した時の罰則は試合規則 17 条・19 条の通りであるが、個人戦と団体戦を含めて行う大会においては、両方に適用する。
 - (イ) 団体戦・個人戦における不正用具使用者は、以後の試合に出場できない。団体トーナメント戦における補欠の出場は別に定めのない限り認める。
 - (ロ) リーグ戦にあっては、不正用具使用者の当該試合を負けとし（相手に 2 本与える）、以後、補欠の出場も認めない。（その際、過去の試合まではさかのぼらないものとする。）
- (4) 試合時間は、全国総体（団体戦・個人戦）、全国選抜大会ともに 4 分とする。また、団体戦の代表者戦においても 4 分とする。
 - (イ) 全国大会（総体・選抜）の団体戦において、試合時間内に勝敗が決しない場合は、引き分けとする。
 - (ロ) 全国大会（総体・選抜）の団体戦における代表者戦において、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に 1 本取ったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は、4 分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦 2 回ごとに「休息」・「休憩」を交互に繰り返す。
 - (ハ) 全国総体の個人戦において、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に 1 本取ったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は、4 分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦 2 回ごとに「休息」・「休憩」を交互に繰り返す。

付記：(1) 勝敗の決するまで延長戦を継続する場合、延長戦 2 回ごとに「休息」と「休憩」を交互に繰り返すが、主審は試合者の疲労度等を観察し、さらに休息等の措置が必要と判断したら、「止め」を宣告し深呼吸等の措置をとることができるものとする。

- ・「休息」…立礼の位置まで下がらせて深呼吸させる。試合再開までは 1 分程度を目途とする。
- ・「休憩」…選手を選手席に戻し、面を外させて給水させる。試合再開までは 4 分程度を目途とする。審判員も一度審判員席に戻る。

- (2) 各都道府県の大会における「試合時間」と「延長戦の試合時間」については、原則として全国大会を基準とする。ただし、運営する大会により別に定めることができるものとする。

- (5) 全国大会団体戦において、4人及び3人チームの出場を認める。運用については、以下のとおりとする。
- (イ) 4人チームは「次鋒・中堅・副将・大将」、3人チームは「中堅、副将、大将」に選手を登録する。
 - (ロ) 大会当日や大会中にやむを得ない理由で選手が5人及び4人揃わない場合は、試合前に本部（事務局・実行委員会等）へ申し出て、4人及び3人チームのオーダーに変更する。
 - (ハ) 5人及び4人のチームが4人及び3人のチームと対戦する場合は、登録選手の中で不戦勝ちの選手を試合前に決定できる。ただし、総体においては、人数の多い方のチームは、オーダー順を変更してはならない。
 - (ニ) 不戦勝ちの選手は不戦勝ちの宣告を受ける。
- (6) 全国大会団体戦の選手変更は以下の方法、条件内で認める。
- (イ) 監督会議前までに所定の届けを大会事務局へ提出する。
 - (ロ) 変更する選手の人数は原則2名以内とする。
 - (ハ) 全国総体で、選手変更する場合、先鋒から大将までのオーダーは変えられない。
 - (ニ) 全国総体では、参加申込時の選手5名補欠2名に対し、新たな選手を入れる場合は補欠を飛び越して選手と直接変更することはできない。
- (7) 団体戦において、補欠と交代した選手の再出場は認めない。（大会が2日以上の場合は全期間にわたって適用する。）但し、全国選抜大会においてはこの限りではない。
- (8) 予選リーグにおける引き分けの際は、その都度勝負を決定せずにそのリーグ終了後下記の順で勝敗を決め、また代表者戦を行う。
- (イ) チームの勝ち点による。（勝ち1点、分0.5点）
 - (ロ) 勝者数による
 - (ハ) 総本数による
 - (ニ) 上記(イ)から(ハ)までで3チームの順位が決定しない場合は、代表者戦によるリーグ順位決定戦を以下の要領で行い当該リーグの1位を決定する。
 - ① 代表者戦の対戦順は予選リーグ戦時の対戦順とする。ただし、1位チームが決定した後の試合は行わないものとする。
 - ② 代表選手は選手の安全面等に配慮し、代表者戦ごと変更することを可とする。
 - ③ 礼法については、代表者戦1巡目のみ当該の試合に出場した5人を整列させて行い、2巡目に入った場合は代表選手のための礼とする。
 - ④ 審判は予選リーグ戦時における当該の審判員が行う。
- (9) 代表者戦の選手は、当該の試合に出場した先鋒から大将までの5人の選手から選出する。但し、予選リーグにおいては補欠と交代した選手の再出場は認めない。代表者戦は一本勝負とする。
- (10) 鏢競り合いについて
- (イ) 試合者は、正しい鏢競り合いの攻防から10秒以内に技を出すか、または、相互に間合いを切って鏢競り合いを解消しなければならない。
正しい鏢競り合いとして以下に示す内容を審判の判定基準とし、この基準からはずれる場合は不当な鏢競り合いの反則とする。
 - ① 手元が上った拳競り合いにならないようにし、手元を下げて相互に鏢元と鏢元を合わせて竹刀を交差させる。（このことを試合者同士が相互に努力して行うことを前提とする。）
 - ② 鏢元で竹刀の表鏢を交差させる。（竹刀は右傾前方に傾ける。）

- ③ 瞬間的に裏交差はあり得るが、直後に表鎧側での交差に直さなければならない。
(先に裏交差した者や右拳を体の中心より左側において鏢競り合いをする者は反則の対象となる。)
- ④ 鏢競り合いは、相互に鏢元で圧力をかけ合っている状態とする。(相手の力を故意に吸収して体を密着させる行為は反則の対象となる。)
- (ロ) 審判員は、不当な鏢競り合いの「反則」を厳密に見極めるとともに、正しい鏢競り合いの攻防が10秒程度続いた場合、時間空費の「反則」または「分かれ」を見極める。
ただし、安易に「分かれ」をかけない。
- (ハ) 運用の詳細については、別紙＜高校剣道－鏢競り合い改善＞概要版（平成22年5月3日決定）による。
- (11) 合議をかけて反則とする場合、合議後に主審はそのまま選手に近づき、具体的に内容を説明する。その後、主審の位置に戻り、「公正を害する行為」・「時間空費」・「不当な鏢競り合い」等の文言を添えて、反則を宣告する。
- (12) 審判員は、全国大会で自分の所属する都道府県の学校及び選手が対戦する試合の審判は行わない。また、出身高校や親族等の関係する試合の審判は行わない。
- (13) 全国大会においてオーダーミスがあった場合の措置については、以下のとおりとする。
 - (イ) 試合開始宣告前に発覚した場合は、正規のオーダーに改めさせ、特に罰則は与えない。
(試合開始宣告とは、その選手が行う試合の「始め」の宣告とする。)
 - (ロ) 試合中あるいは試合後に発覚した場合は次のように措置する。
(その試合場の審判主任へ異議を申し出る。)
- [例えば、先鋒と次鋒のオーダーミス]
 - *先鋒、次鋒とも相手に2本を与えて負けとする。
 - *先鋒、次鋒とも既得本数は認めない。
 - *先鋒、次鋒とも当該試合には出られない。
- (試合後の発覚とは、チームの大將戦が終了し、団体の礼が終わるまでに発覚した場合をいう。試合の勝敗は、団体の礼をもって「成立」とし、それ以後の異議申し立てはできない。)
- (ハ) 上記(ロ)は、
 - ①トーナメント戦においては、当該試合のみ適用する。
 - ②総体予選リーグにおいては、当該試合及び以後のリーグ戦の試合にも適用する。
- (ニ) オーダーミスをした選手(チーム)の以後の試合は、次のように措置する。
 - ①トーナメント戦においては、正規のオーダーに改めさせ出場を認める。
選抜大会(フリーオーダー制)においても出場を認める。
 - ②総体予選リーグにおいては、出場を認めない。また、補欠の補充も認めない。
- (14) 応援は拍手のみとする。指示や声援は厳禁とする。
- (15) 会場に各種旗(校旗、部旗、それに類するもの)の掲揚はしない。

6 事故の処理

選手が負傷した場合は、医師及び監督の意見を聞いた上、審判主任と審判員の4名が審判長の了解を得て試合継続の可否について決定する。試合の継続が決定した後、原則として5分以内に試合を再開する。

7 試合放棄に対する措置について

全国大会において試合放棄が行われた場合、原則として以下の措置をとる。

試合放棄とは事故や負傷などによる棄権ではなく、運営や判定に対する不満により、試合を一方的に放棄した場合をいう。

(1) 試合放棄の事実確認及び事情聴取

審判長または審判主任は、監督及び選手に対して試合放棄の事実を直接確認し、その事情聴取にあたる。

(2) 競技上の取り扱い

剣道試合・審判規則第31条（棄権）、細則28条に則り以下の通り処理する。

(イ) 試合を放棄した者は負けとし、その後試合に出場することができない。

(ロ) 個人戦においては、相手に2本を与えて負けとする。既得本数は認めない。

(ハ) 団体戦においては、相手チームに5勝10本を与えて負けとし、既得本数は認めない。

(リーグ戦においてはそのリーグすべての試合を、相手チームに5勝10本を与えて負けとし、既得本数、既得権は認めない。)

付記：団体戦においては、チームとして試合放棄した場合とチーム内の1選手が試合放棄した場合があり得るが、ともに上記（ハ）のとおり処置する。

(3) 試合放棄した個人または団体（監督も含め）に対する事後の指導措置

（公財）全国高体連剣道専門部長は、副部長・委員長と協議し当該者に対し指導を講ずる。その結果を全国専門委員会に報告する。

付記：各都道府県の大会における試合放棄は、各都道府県高体連及び剣道専門部に一任する。その結果を（公財）全国高体連剣道専門部長に報告する。
（令和5年5月3日一部改定）

関東高体連剣道専門部 申し合わせ事項

平成15年2月6日
平成22年5月3日一部改正

関東高体連剣道専門部申し合わせ事項は、（公財）全国高体連剣道専門部申し合わせ事項に準ずる。

但し、下記の事項は、関東大会における関東高体連専門部としての申し合わせ事項である。

1 監督心得（1）監督の服装は、審判員または選手の服装に準ずる。

2 競技運営（1）試合の進行が滞り競技運営に支障をきたす場合には、各試合場の審判主任の判断で、監督が不在であっても試合を行うことができる。
但し、これについては、試合前の監督会議において、あらかじめ了承を得るものとする。

以上

令和5年度

公益財団法人 全国高等学校体育連盟剣道専門部 努力目標

1. 指導方針

剣道の理念をより深く認識し、心気力一致の剣道を目指す。

- ◎ 正しい心で稽古も試合もするよう指導する。
- ① 望ましい指導者のあり方について研鑽を積む。
(指導者に対する各種の意見に対しては耳を傾け研鑽の材料とする。)
- ② 真の有効打突を求め、その指導に徹する。
(気剣体一致の打突を常に念頭に置き指導する。)
- ③ 正しい鏢競り合いを徹底する。
正しい鏢競り合いとして以下に示す内容を徹底して指導する。
 - ア 手元が上った拳競り合いにならないようにし、手元を下げて相互に鏢元と鏢元を合わせて竹刀を交差させる。
(このことを試合者同士が相互に努力して行うことを前提とさせる。)
 - イ 鏢元で竹刀の表鎧を交差させる。
(竹刀は右傾前方に傾ける。)
 - ウ 瞬間的に裏交差はあり得るが、直後に表鎧側での交差に直さなければならない。
(先に裏交差した者や右拳を体の中心より左側において鏢競り合いをする者は反則の対象となることも指導する。)
 - エ 鏢競り合いは、相互に鏢元で圧力をかけ合っている状態とする。
(相手の力を故意に吸収して体を密着させる行為は反則の対象となることも指導する。)
- ④ 試合時間の大半を「鏢競り合いに費やす試合展開」ではなく、「間合いを取り、対峙して攻め合う試合展開」になるように指導する。
(お互いに分かれて鏢競り合いを解消する場合は、右足前の中段の構えを基準として呼吸を合わせ潔く剣先の触れない位置まで間合いを切ることを指導する。)
- ⑤ 公明正大に試合するように指導する。
(攻めもなく打突することもなく、構えて即、深い間合いに入ったり、鏢競り合いに持ちこむ試合行動はさせない。)
- ⑥ 安全に留意した稽古・試合を行うよう指導を強める。
(先細竹刀の使用、竹の肉厚を薄く削る等、危険と思われる形状の竹刀の使用を止めさせる。)
(危険と思われる突きは止めさせる)

2. 審判員留意事項

- ◎ 正しい剣道が継続され、正しく豊かな心が育つよう、公正かつ厳正に審判する。
- ① 有効打突の判定を誤らないようにする。
(引き技・左胴の見誤りをなくする。技の違いと錬度に応じた打突の見極めをする。)
 - ② 申し合わせ事項にある「正しい鍔競り合い」の内容を正確に把握し、不当な鍔競り合いの「反則」を見逃さないようにする。
(反則と見なした時点で主審は試合を中止し合議をかける。)
 - ③ 正しい鍔競り合いが10秒程度続いた場合、安易に「分かれ」をかけず、原則的にいずれか一方に時間空費の反則をとる。
(10秒の時間感覚を日常より身につける努力をする。)
(その他鍔競り合いにおける措置は、別紙「鍔競り合い改善の補足事項（平成22年5月3日決定）」による。)
 - ④ 一時中止要請に対しての処理を適切に行う。
(不適切なものは「反則」にする)
 - ⑤ 場外反則のとりかたを正確にできるように努力する。
(「場外」と「押し出し・突き出し」の判定を正確に行う)
(「止め」を宣言する時期を適切なものにする)
 - ⑥ 危険な突きは反則とする。
(有効打突とする意志のない危険な突き、例えば、相手の場外反則をねらって突いたもの、あるいは引き技を出した相手に残心をとらせないで相手の有効打突を消すことをねらって突いたものなどを反則とする)

(平成 4年5月25日 制 定)

(平成22年5月3日一部改定)

<高校剣道一鰐競り合い改善>概要版

- 背景⇒ ◎試合時間の大半が鰐競り合いに費やされている。
◎不当な鰐競り合いや中途半端な間合いからの公明正大さに欠ける試合行為が多く誘発されている。

方針⇒ **正しい鰐競り合いを徹底させる** ➡ **間合いを取り対峙して攻め合う試合展開に変えていく**

方策⇒ **正しい鰐競り合いの形を示し、その形をとらせる**
10秒以内に技を出すか、出せなければ相互に間合いを切って鰐競り合いを解消する→申し合わせ事項とする ← **審判によって厳守させる**
指導によって徹底させる

- 1 不当な鰐競り合いを厳密に見極め判断する。
①正しい鰐競り合いをする努力が見られるか否か。
②鰐競り合いの形の変形・変化が1-①を条件とし、許容範囲か否か。
2 明らかに剣先が触れない位置まで、右足前の中段の構えを基準として **深く間合いを切ったか否か**を判断する。
①相互に呼吸を合わせる分かれ方と、片方が一方的かつ瞬間的に間合いを切る分かれ方を区別する。
②身体接触（鰐競り合い）をせず、近間中間から間合いを切る試合行為と混同しない。

選手⇒試合の留意点

審判員・指導者（監督）⇒審判の要点・指導の要点

<10秒以内に技を出す>

- 鰐競り合いの攻防から出す引き技
- 相手の引き技に対する瞬間的な応じ技
- 引き技に対する追い込み技
- 相手が鰐競り合いを解消するために分かろうとした瞬間に出す技

- 10秒は、攻防の流れを見極め主審の裁量で判断する
- 鰐競り合いから技が出れば、鰐競り合いの解消とする
- 技が出た直後再度鰐競り合いになる⇒改めて10秒を見極める（但し1本にする意思のない技でこの行為を繰り返したら時間空費の反則とする）
- 引き技に対し、ただくっついて鰐競り合い解消を拒む行為は繰り返したら時間空費の反則とする
- 鰐競り合い解消のため分かろうとした瞬間に出す技は有効打突になり得る。（但し技が出ず、呼吸を合わせて分かれるその途中の近間中間からの技は反則とする）

<深く分かれ鰐競り合いを解消する>

- 10秒以内に技を出せなければ、相互に呼吸を合わせ深く分かれる
- 分かれる場合は右足前の中段の構えを基準として明らかに剣先が触れない位置まで深く間合いを切る
- 相手が分かろうとしたら、自分も呼吸を合わせ深く分かれる（分かろうとする者は気を抜かず、相手の竹刀を制し打たれないように分かれる。分かろうとした瞬間に打たれた場合は有効打突になり得る）
- 呼吸を合わせる間もなく、相手が一方的瞬間的に間合いを切る場合はそこを追い込んだり打突したりしても問題にはならない⇒反則ではなく、有効打突になり得る
- 呼吸を合わせ分かれる場合は、その途中の近間中間での打突等は反則となる
- 鰐競り合い解消直後、すぐ近間に入ることや鰐競り合いに持ち込むことを繰り返せば反則となる。

- 明らかに剣先が触れない位置まで右足前の中段の構えを基準として **深く間合いを切らない行為**は反則とする（例：間合いが切れる前に攻めて出る・打突する・上段をとる、剣先が離れる寸前でさがろうとしない等の行為）
- 自分の引く距離を少なくし相手に大きく引かせる行為は反則とする
ただし、片方が一方的瞬間的に大きく引く場合は、他方の引く距離が少なくなっても問題にならない⇒反則ではない
- 呼吸を合わせる間もなく片方が鰐競り合い解消のために一方的瞬間的に間合いを切りさがる場合は⇒相互に呼吸を合わせ深く間合いを切る場合と異なるので、そのまま試合を継続させる（さがる相手を追い込む、打突する等は問題にならない⇒反則ではないし有効打突になり得る）
- 呼吸を合わせて分かれる途中の近間中間からは、「打突する」「竹刀を巻く」「前に出て間を詰める」「止まって相手をさがらせる」等の行為は反則とする。
- 間合いを切って鰐競り合いを解消した直後、すぐ近間に入る、又は鰐競り合いに持ち込む行為は⇒繰り返せば反則とする
- 分かれは安易にかけない。

埼玉県高体連 参加資格

- (1) 埼玉県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で当該大会要項の参加資格を有する者。
- (2) 年令は平成16年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は、一回限りとする。
- (3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。ただし、全日制・定時制Ⅰ部の混成チームとして認められた競技はこの限りではない。
- (4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は高体連会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (6) 全国高等学校総合体育大会開催基準要項の参加資格の(9)の特例により参加資格を得たものが出場できる大会は次のとおりとする。
 - ア 学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会県予選会
 - イ 県民総合体育大会兼高等学校新人大会県大会および支部予選会
 - ウ 関東高等学校体育大会および県予選会・支部予選会
- (7) 関東高等学校体育大会は全国高等学校総合体育大会に準じて、全国高等学校総合体育大会の開催基準要項の参加資格の(9)の特例により参加資格を得たものが出場できる。

* (9) の特例

全国高等学校総合体育大会開催基準要項(9)参加資格の特例「大会参加資格の別途に定める規定」のことをさす。

令和5年度 強化部行事について

1. 県強化錬成会について

- ・令和6年2月17日（土） 於：未定
- ・他県チームを招いて強化練習 対象：県新人大会上位校及び国スポ候補選手

2. 令和5年度特別国体選手選考会について

- ・（1次選考会） 令和5年5月13日（土） 於：川口市立高校第2校地
- ・（最終選考会） 令和5年7月2日（日） 於：県立武道館
- ・試合や試合内容、大会実績や強化練習での内容等を総合的に判断し選考する。
- ・内定制…5年度関東大会個人ベスト4以上（候補選手に限る）
5年度関東大会県予選会個人2位以上かつ全国大会県予選会個人2位以上
- ・選手決定、発表予定 令和5年7月2日（日）

3. 令和5年度特別国体候補選手の資格条件について

- ・令和4年度国体最終選考会 出場者
- ・ " 関東大会県予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ " 全国大会県予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ " 全国大会県予選会団体戦 男女各上位8校より強化部推薦として若干名
- ・ " 埼玉県剣道大会 男女各上位4名（ベスト8選手強化部推薦）
- ・ " 県新人大会 男女各上位8校より強化部推薦として若干名
- ・令和5年度関東大会県予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ " 関東大会県予選会団体戦 男女各上位8校より強化部推薦として若干名
- ・ " 全国大会県予選会個人戦 男女各上位4名
- ・強化部特別推薦 若干名

4. 2024第78回国民スポーツ大会候補選手の資格条件について

- ・令和5年度国体候補者 最終選考会出場者
- ・令和5年度関東大会県予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ " 全国大会予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ " 全国大会予選会団体戦 男女各上位8校より強化部推薦として若干名
- ・ " 埼玉県剣道大会 男女各上位4名（ベスト8選手強化部推薦）
- ・ " 県新人大会 男女各上位8校より強化部推薦として若干名
- ・令和6年度関東大会県予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ " 関東大会県予選会団体戦 男女各上位8校より強化部推薦として若干名
- ・ " 全国大会県予選会個人戦 男女各上位4名
- ・強化部特別推薦 若干名

5. 2024第78回国スポ強化練習会について

- ・ 令和6年 2月 3日（土） 中高合同強化練習会 於：未定
- ・ " 2月10日（土） 栃木県交流戦 於：栃木県総合運動公園ユウケイ武道館
- ・ " 3月16日（土） 強化練習会 於：未定

令和 5 年度指導普及部行事（審査・講習会）について

1. 審査

1 級 6 月 2 5 日（日）、1 0 月 2 2 日（日）
初～三段 8 月 2 1 日（月）、1 月 7 日（日）

2. 講習

指導者講習会（教員対象） 8 月 8 日（火）

◎指導者講習会の派遣文書は後日配布します。

3. その他

A：再受審者の手続きについて

実技審査に合格した後、形および学科審査により不合格となった生徒は、形および学科のみを再受審できます。申込個票に必要事項を記入し、審査料を添えて申し込んでください。

再審査料は初段 6 0 0 円、二段 8 0 0 円、三段 1 1 0 0 円です。

B：前段を他の都道府県で取得した生徒について

前段を他の都道府県で取得した生徒は、改めて埼玉県剣道連盟への加入が必要となります（未加入の場合は、昇段審査を受審できません）。必ず下記の手続きを行ってください。

①加入方法 下記の三点を揃えて顧問が審査の係に提出する。

- a 入会申込書
- b 入会登録料 1 5 0 0 円
- c 前段の証書のコピー (A4サイズ)

②受付期間 令和 5 年 6 月 1 3 日（全国大会県予選会男女個人）
6 月 2 0 日（全国大会県予選会男子団体）
6 月 2 1 日（全国大会県予選会女子団体）
※ 3 日間の午前中のみ

③受付場所 大会会場

④受領品 剣道手帳

※年度途中での入部などにより上記Bの手続きが必要となる場合は下記担当者までお問い合わせください。

☆その他不明の点がありましたら、秀明高校 杉山 栄樹 までご連絡ください。
(TEL 049-232-6611)

高校剣道連盟 一級審査会要項

令和5年度 第1回

- 1 日 時 令和5年 6月25日(日) 9:30開場
(10時15分審査開始・12時30分終了予定)
- 2 場 所 県立スポーツ総合センター 2階多目的室
(埼玉県立武道館の北側の建物です。)
- 3 受 付 9:30~10:00 (10:00受付終了)
- 4 持ち物 剣道具・竹刀・木刀・筆記用具
- 5 費 用 審査料 1,000円
入会金(埼剣連) 1,500円
登録料 1,500円 合 計 4,000円
- 6 受審内容 実 技(切り返し・地稽古)
木刀による基本技稽古法(基本9まで) および日本剣道形(3本目まで)
- 7 申し込み 当日申し込み。申込書は不必要です。
部員登録番号を控えておいてください。
- 8 その他 6月25日審査合格者に限り、審査終了後すぐに8月21日(月)の
段位審査会での初段審査の申し込みが可能ですので、希望者は
初段審査料 (3,000円) を用意して下さい。

令和5年度 第2回

- 1 日 時 令和5年10月22日(日) 9:30開場
(10時15分審査開始・12時30分終了予定)
- 2 場 所 県立スポーツ総合センター 2階多目的室
(埼玉県立武道館の北側の建物です。)
- 3 受 付 9:30~10:00 (10:00受付終了)
- 4 持ち物 剣道具・竹刀・木刀・筆記用具
- 5 費 用 審査料 1,000円
入会金(埼剣連) 1,500円
登録料 1,500円 合 計 4,000円
- 6 受審内容 実 技(切り返し・地稽古)
木刀による基本技稽古法(基本9まで) および日本剣道形(3本目まで)
- 7 申し込み 当日申し込み。申込書は不必要です。
部員登録番号を控えておいてください。

☆受審の際、全日本剣道連盟の「審査会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」・「県大会実施における感染症拡大防止対策」に基づいて行います。
事前に確認してください。

◎ 上記に関して不明な点がありましたら、秀明高等学校 杉山 までご連絡下さい。

TEL 049-232-6611

剣道 1 級審査の実技について

① 切り返し、稽古（立会い）（4 人 2 組または 3 人 1 組）

1 回目：「切り返し始め」の号令で奇数番号より切り返しを行う（偶数番号が元立ち）。終わったら偶数番号が切り返しを行う（奇数番号が元立ち）。終わったら開始線に戻り「稽古始め」（計測開始）の号令で稽古を行う。**40 秒を目安に「止め」**の号令で開始線の位置に戻り、「それまで」の号令で納める。

※切り返しは「正面－左右面（前 4 本、後 5 本）2 回－正面」この後にもう 1 度正面を打って最初の位置に戻る。

※1 回 1 回ゆっくり止めて打つ切り返しではなく、連続動作での切り返しを心掛ける。

2 回目：偶数番号が入れ替わり、相互の礼で蹲踞し「稽古始め」の号令（計測開始）で稽古のみを行う。**40 秒を目安に「止め」**の号令で、開始線の位置に戻り「それまで」の号令で納める。

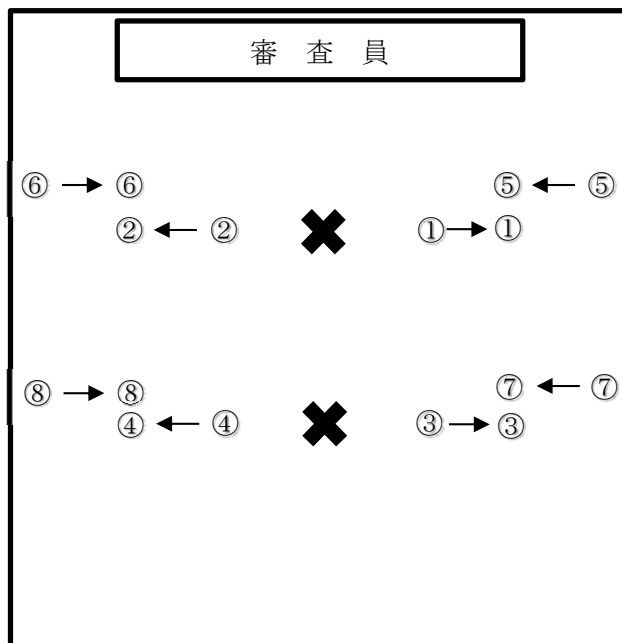
② 木刀による剣道基本技稽古法

基本 1～9 までの「元立ち」「掛かり手」の両方を行う。

③ 日本剣道形

太刀 1～3 本目までの「打太刀」「仕太刀」のどちらか一方を行う。

☆実技審査の礼の要領について



受審人数の関係上、3 人組で行う場合があります。その際は、当日該当者に説明します。

実技審査の要領

1. 受審番号順に整列し、審査が近づいたら面を着け、静かに待つ
2. 前の者の審査が終了、蹲踞し 5 歩下がるのに合わせ、後で待機していた者が前に出て礼を合わせる。
(終りと始めの礼を合わせる)
号令はかけないので、お互いに呼吸を合わせて行う。
3. 2 回目の立ち会いは、偶数番号の者が入れ替わって行います。(左図では②と④を入れかえるという意味です。)

高校剣道段位審査会要項

- 1 日時 令和5年8月21日(月) 8:30開場
2 場所 埼玉県立武道館(主道場)
3 受付 すべての段位の受付を8:30より行います。(受付終了9:00)
武道館2階より検温をして受審者のみ入館。

4 費用

	初 段	二 段	三 段
審 査 料	3000円	4000円	5000円
(再審査)	600円	800円	1100円
登 録 料	5500円	7500円	11000円

登録料は、当日合格発表後に会場で納入していただきます。お釣りのないようご準備ください。

5 受審資格

- ・高体連関係者のみ(埼玉県高校剣道連盟の会員登録をしている者)
- ・初段は、一級取得後30日を経過した者(都道府県はどこでも可)
- ・二段は、初段取得後1年を経過した者(//)
- ・三段は、二段取得後2年を経過した者(//)
(二、三段受審者の取得経過年数は、同月であれば日数不足は受審可能)

6 申し込み方法

- (1) ①申込個票、②学校団体申込書、③審査料 を揃えて提出してください。
- ・申込個票は高体連剣道専門部HPよりダウンロードしてください。
記入例は別紙の通りです。男女で用紙が異なるので注意してください。個票の下段に部員登録番号(9桁)を記入する欄があります。
 - ・学校団体申込書も高体連剣道専門部HPよりダウンロードしてください。
個票の枚数と学校団体申込書に記載されている人数が一致するように確認してください。
- (2) インターハイ県予選会(6月13日:男女個人、6月20日:男子団体、6月21日:女子団体)の午前中に、会場の指定された場所で、各学校の顧問が申し込んでください。
(申込後の審査料の返金は原則として致しません)
- ・大会に参加しない学校については、現金書留にて深谷第一高等学校・小林まで
6月8日(木)必着で申し込んでください。その際は、その旨電話でご一報ください。
(048-571-3381)
 - ・6月25日(日)の1級審査合格者に限り、その時点での初段の申込は受け付けます。

7. 学科問題

- ・解答用紙は高体連剣道専門部HPよりダウンロードしてください。問題は解答用紙に記載してあります。(段ごとに別の用紙になっているので注意)
- ・指定用紙の氏名・性別の欄は必ず記入しておいてください。受審番号だけは審査当日に指示された番号を記入します。
- ・解答は手書きとし、指定用紙一枚(A4)に収めるよう作成してください。筆記具の種類は特に問いません。
- ・指定用紙以外での解答は受け付けません。
- ・解答用紙は審査会当日の受付時に回収します。

8. その他

- ・実技試験の内容については下記の10及び別紙を参照してください。
- ・受審の際、全日本剣道連盟の「審査会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」「県大会実施における感染症拡大防止対策」に基づいて実施します。
- ・待機している時には、人と人との距離を常に保つようお願いします。
- ・受審者は、面をつけた時は、面マスクまたはマウスシールド(市販品もしくは全剣連推奨品)を着用。また、日本剣道形の審査でもマスクの着用をお願いします。
- ・合格発表は閉会式終了後に会場にて行います。その際合格者は、登録料を納入していただきますので、現金の準備をお願いします。
- ・今後変更がある場合は高体連剣道専門部HPにて連絡致します。顧問、受審者は必ずご確認ください。

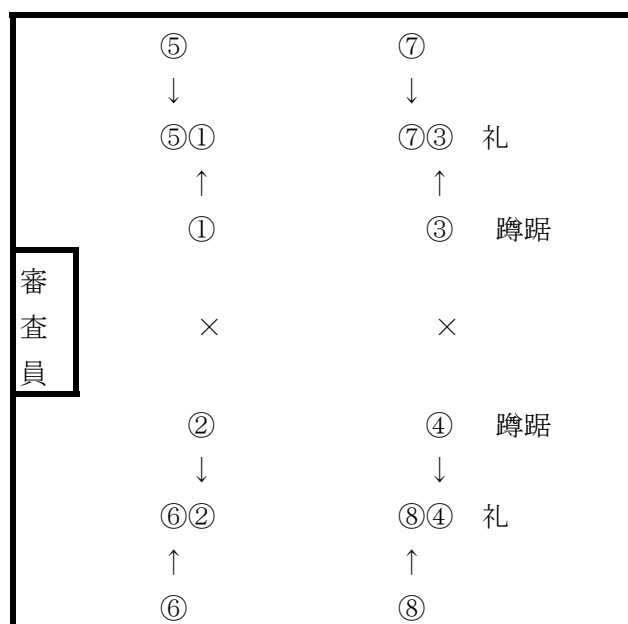
9. 過去の段審査会（個票の現段位受領年月日記入時の参考にしてください）

令和2年	1月12日（高校）、2月2・9・24日（四地区）、8月12日（高校）、10月4・11・25日（四地区）
令和3年	1月30日（高校）、2月11・14・21日（四地区）、8月21日（高校）、10月3・10・30日（四地区）
令和4年	1月6日（高校）、2月13日（四地区）、8月11日（高校）、10月8・9・16日（四地区）
令和5年	1月9日（高校）、2月12・26日（四地区）

二段受審資格…令和4年8月以前に初段を取得した者（8月中も可）

三段受審資格…令和3年8月以前に二段を取得した者（8月中も可）

10. 実技審査の礼の要領について



実技審査の要領

1. 受審番号順に整列し、審査が近づいたら面を着け、静かに待つ
2. 前の者の審査が終り、蹲踞し5歩下がるのに合わせ、後ろで待機していた者が前に出て礼を合わせる。
(終りの礼と始めの礼が合う様にする)
号令はかけないので、お互いに呼吸を合わせて行う。
3. 2回目の立ち会いは、偶数番号を入れかえて行います。(左図では②と④を入れかえるという意味です。)

受審人数の関係上、3人組で行う場合があります。
その際は、当日該当者に説明します。

剣道段位審査の実技について

① 稽古（立会い）（4人2組または3人1組）

（1）初、二段

1回目：「切り返し始め」の号令で奇数番号より切り返しを行う（偶数番号が元立ち）。終わったら偶数番号が切り返しを行う（奇数番号が元立ち）。終わったら開始線に戻り「稽古始め」（計測開始）の号令で稽古を行う。40秒を目安に「止め」の号令で開始線の位置に戻り、「それまで」の号令で納める。

※切り返しは「正面－左右面（前4本、後5本）2回－正面」この後にもう1度正面を打って最初の位置に戻る。

※1回1回ゆっくり止めて打つ切り返しではなく、連続動作での切り返しを心掛ける。

2回目：偶数番号が入れ替わり、相互の礼で蹲踞し「稽古始め」（計測開始）の号令で稽古のみを行う。40秒を目安に「止め」の号令で、開始線の位置に戻り「それまで」の号令で納める。

（2）三段（切り返しを行わない）

相互の礼（計測開始）で蹲踞し、「稽古始め」の号令で稽古のみを行う。1分を目安に「止め」の号令で開始線の位置に戻り「それまで」の号令で納める。偶数番号が入れ替わり、1人目と同じ方法で2回目の稽古を行う。

② 日本剣道形

- 初段 太刀1～3本目までの「打太刀」「仕太刀」のどちらか一方を行う。
- 二段 太刀1～5本目までの「打太刀」「仕太刀」のどちらか一方を行う。
- 三段 太刀1～7本目までの「打太刀」「仕太刀」のどちらか一方を行う。

※不明な点がありましたら、秀明高校 杉山（TEL 049-232-6611）までご連絡ください。

高校剣道段位審査会要項

- 1 日時 令和6年1月7日(日) 8:30開場
2 場所 埼玉県立武道館(2階剣道場)
3 受付 すべての段位の受付を8:30より行います。(受付終了9:00)
武道館2階より検温をして受審者のみ入館。

4 費用

	初 段	二 段	三 段
審 査 料	3000円	4000円	5000円
(再審査)	600円	800円	1100円
登 録 料	5500円	7500円	11000円

登録料は、当日合格発表後に会場で納入していただきます。お釣りのないようご準備ください。

5 受審資格

- ・高体連関係者のみ(埼玉県高校剣道連盟の会員登録をしている者)
 - ・初段は、一級取得後30日を経過した者(都道府県はどこでも可)
 - ・二段は、初段取得後1年を経過した者(〃)
 - ・三段は、二段取得後2年を経過した者(〃)
- (二、三段受審者の取得経過年数は、同月であれば日数不足は受審可能)

6 申し込み方法

- (1) ①申込個票、②学校団体申込書、③審査料 を揃えて提出してください。
- ・申込個票は高体連剣道専門部HPよりダウンロードしてください。
記入例は別紙の通りです。男女で用紙が異なるので注意してください。個票の下段に部員登録番号(9桁)を記入する欄があります。
 - ・学校団体申込書も高体連剣道専門部HPよりダウンロードしてください。
個票の枚数と学校団体申込書に記載されている人数が一致するように確認してください。
- (2) 埼玉県剣道大会11月13日(月)の午前中に、会場の指定された場所で、各学校の顧問が申し込んでください。(申込後の審査料の返金は原則として致しません)
- ・大会に参加しない学校については、現金書留にて深谷第一高等学校・小林まで
11月8日(水)必着で申し込んで下さい。その際は、その旨電話でご一報ください。
(048-571-3381)

7. 学科問題

- ・解答用紙は高体連剣道専門部HPよりダウンロードしてください。問題は解答用紙に記載してあります。(段ごとに別の用紙になっているので注意)
- ・指定用紙の氏名・性別の欄は必ず記入しておいてください。受審番号だけは審査当日に指示された番号を記入します。
- ・解答は手書きとし、指定用紙一枚(A4)に収めるよう作成してください。筆記具の種類は特に問いません。
- ・指定用紙以外での解答は受け付けません。
- ・解答用紙は審査会当日の受付時に回収します。

8. その他

- ・実技試験の内容については下記の10及び別紙を参照してください。
- ・受審の際、全日本剣道連盟の「審査会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」「県大会実施における感染症拡大防止対策」に基づいて実施します。
- ・待機している時には、人と人との距離を常に保つようお願いします。
- ・受審者は、面をつけた時は、面マスクまたはマウスシールド(市販品もしくは全剣連推奨品)を着用。また、日本剣道形の審査でもマスクの着用をお願いします。
- ・合格発表は閉会式終了後に会場にて行います。その際合格者は、登録料を納入していただきますので、現金の準備をお願いします。
- ・今後変更がある場合は高体連剣道専門部HPにて連絡致します。顧問、受審者は必ずご確認ください。

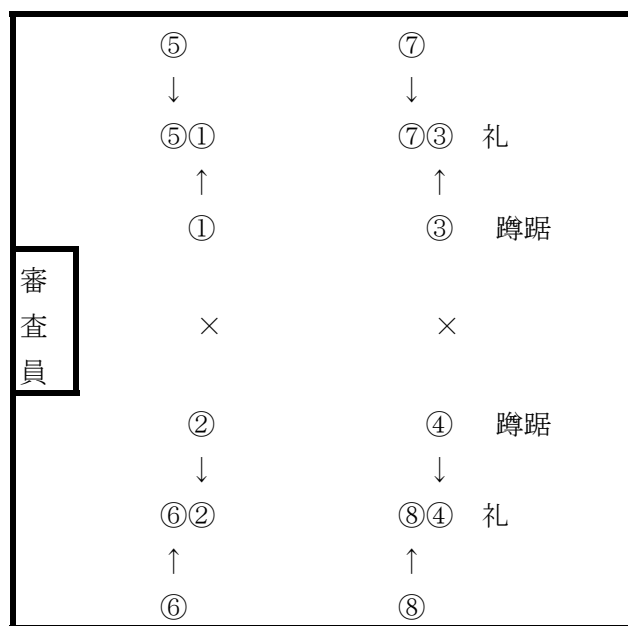
9. 過去の段審査会（個票の現段位受領年月日記入時の参考にしてください）

令和2年	1月12日（高校）、2月2・9・24日（四地区）、8月12日（高校）、10月4・11・25日（四地区）
令和3年	1月30日（高校）、2月11・14・21日（四地区）、8月21日（高校）、10月3・10・30日（四地区）
令和4年	1月6日（高校）、2月13日（四地区）、8月11日（高校）、10月8・9・16日（四地区）
令和5年	1月9日（高校）、2月12・26日（四地区）、8月21日（高校）、10月8・9・22日（四地区）

二段受審資格…令和5年1月以前に初段を取得した者（1月中も可）

三段受審資格…令和4年1月以前に二段を取得した者（1月中も可）

10. 実技審査の礼の要領について



実技審査の要領

1. 受審番号順に整列し、審査が近づいたら面を着け、静かに待つ
2. 前の者の審査が終り、蹲踞し5歩下がるのに合わせ、後ろで待機していた者が前に出て礼を合わせる。
(終りの礼と始めの礼が合う様にする)
号令はかけないので、お互いに呼吸を合わせて行う。
3. 2回目の立ち会いは、偶数番号を入れかえて行います。(左図では②と④を入れかえるという意味です。)

受審人数の関係上、3人組で行う場合があります。
その際は、当日該当者に説明します。

剣道段位審査の実技について

① 稽古（立会い）（4人2組または3人1組）

（1）初、二段

1回目：「切り返し始め」の号令で奇数番号より切り返しを行う（偶数番号が元立ち）。終わったら偶数番号が切り返しを行う（奇数番号が元立ち）。終わったら開始線に戻り「稽古始め」（計測開始）の号令で稽古を行う。40秒を目安に「止め」の号令で開始線の位置に戻り、「それまで」の号令で納める。

※切り返しは「正面－左右面（前4本、後5本）2回－正面」この後にもう1度正面を打って最初の位置に戻る。

※1回1回ゆっくり止めて打つ切り返しではなく、連続動作での切り返しを心掛ける。

2回目：偶数番号が入れ替わり、相互の礼で蹲踞し「稽古始め」（計測開始）の号令で稽古のみを行う。40秒を目安に「止め」の号令で、開始線の位置に戻り「それまで」の号令で納める。

（2）三段（切り返しを行わない）

相互の礼（計測開始）で蹲踞し、「稽古始め」の号令で稽古のみを行う。1分を目安に「止め」の号令で開始線の位置に戻り「それまで」の号令で納める。偶数番号が入れ替わり、1人目と同じ方法で2回目の稽古を行う。

② 日本剣道形

初段 太刀1～3本目までの「打太刀」「仕太刀」のどちらか一方を行う。

二段 太刀1～5本目までの「打太刀」「仕太刀」のどちらか一方を行う。

三段 太刀1～7本目までの「打太刀」「仕太刀」のどちらか一方を行う。

※不明な点がありましたら、秀明高校 杉山（TEL 049-232-6611）までご連絡ください。

令和5年度 指導普及部役割分担(案)

係			常任委員				専門委員				備考	
総務・会計・厚生・部員登録			杉山 栄樹	早川 周一	小林 一平	小島 武文						
昇段審査	受付 PC入力	6月13日 (男女個人)	◎小林 一平 杉山 栄樹	早川 周一 田中 隆宏(PC)	倉成 俊之	小島 武文	坂本美佐子(受付) 杼原 大貴(受付) 小原 啓雅(受付) 土屋 航大(受付) 木村 文憲(PC) 直井 孝義(PC) 浅岡 宏二(PC) 高橋 香(PC)				インハイ予選男女個人	
		6月20日 (男子団体)	◎小林 一平 杉山 栄樹	早川 周一 田中 隆宏(PC)	倉成 俊之	小島 武文	杼原 大貴(受付) 坂本美佐子(受付) 浅岡 宏二(受付) 直井 孝義(受付) 木村 文憲(PC) 板垣 裕一(PC) 小原 啓雅(PC) 高橋 香(PC)				インハイ予選男子団体	
		6月21日 (女子団体)	◎小林 一平 杉山 栄樹	早川 周一 田中 隆宏(PC)	倉成 俊之	小島 武文	杼原 大貴(受付) 竹内 佳澄(受付) 星野 雅俊(受付) 浅岡 宏二(受付) 木村 文憲(PC) 板垣 裕一(PC) 高橋 香(PC) 直井 孝義(PC)				インハイ予選女子団体	
		11月13日 (男女個人)	◎小林 一平 杉山 栄樹	早川 周一 田中 隆宏(PC)	倉成 俊之	小島 武文	土屋 航大(受付) 星野 雅俊(受付) 板垣 裕一(受付) 直井 孝義(受付) 木村 文憲(PC) 岩田 靖史(PC) 坂本美佐子(PC) 高橋 香(PC)				埼玉県剣道大会	
		総務						木村 文憲(PC) 高橋 香(PC)				※受審者の数により 後日割振りをお願いします。
	立会・集計	8月21日	小林 一平 倉成 俊之	杉山 栄樹 木村 篤史	早川 周一 小島 武文	田中 隆宏	浅岡 宏二 小田 寛人 関谷 正文 土田 毅 星野 雅俊	板垣 裕一 小原 啓雅 高橋 博貴 土屋 航大	岩田 靖史 近藤 毅 竹内 佳澄 直井 孝義	大橋 剛男 坂本 美佐子 長 武範 永野 雅大		
		1月7日	小林 一平 倉成 俊之	杉山 栄樹 木村 篤史	早川 周一 小島 武文	田中 隆宏						
	救護接待						坂本 美佐子 竹内 佳澄 (上の業務と兼ねる)					
	1級審査	総務		◎田中 隆宏				高橋 香(PC)				
		審査・立会	6月25日	杉山 栄樹(審査) 早川 周一(審査) 倉成 俊之(審査) 木村 篤史(審査) 小林 一平(審査) 小島 武文(立会)				木村 文憲				
総務			◎田中 隆宏									
審査・立会		10月22日	杉山 栄樹(審査) 早川 周一(審査) 倉成 俊之(審査) 木村 篤史(審査) 小林 一平(審査) 小島 武文(立会)				高橋 香					
指導者講習会	総務・資料販売	8月8日	◎倉成 俊之 杉山 栄樹 早川 周一				浅岡 宏二	岩田 靖史	永野 雅大	小原 啓雅		
はじめ杯	運営・進行	12月17日	◎小島 武文 倉成 俊之	杉山 栄樹 小林 一平	早川 周一 木村 篤史	田中 隆宏	関谷 正文 竹内 佳澄	岩田 靖史 小原 啓雅	大橋 剛男 永野 雅大	土屋 航大		
ポスター	回収・取り纏め		◎木村 篤史 倉成 俊之	杉山 栄樹 小林 一平	早川 周一 小島 武文	田中 隆宏	木村 文憲 高橋 香	板垣 裕一 坂本 美佐子				
稽古会	運営・進行	5月6日 6月20日 11月13日 1月15日	◎木村 篤史 倉成 俊之	杉山 栄樹 小林 一平	早川 周一 小島 武文	田中 隆宏	浅岡 宏二 土田 毅	岩田 靖史 直井 孝義	大橋 剛男 永野 雅大	小田 寛人	各団体戦の1日目 および 埼玉県剣道大会	

令和 5 年度登録用紙の入力方法について

登録用紙の提出は、ホームページから書式をダウンロードし、電子データはホームページの登録フォームから添付ファイルにて送信して下さい。

その際のファイル名は “〇〇 (学校番号・半角) ▲▲ (学校名)” をお願い致します。【例：415 深谷第一】

※部員登録番号は毎年変更されますので、令和 5 年度登録用紙を新規にダウンロードし、入力・送信して下さい。

●令和 5 年度登録用紙の入力方法

 の中のみ、入力して下さい。

1	令和	5	年度 埼玉県高体連剣道専門部 部員登録	総数	名(顧問も含む)												
2	学校番号		部員数(生徒)	名	顧問	名											
3	学校名	高等学校	男子	名	女子	名(顧問も含む)											
4	番号	部員登録番号	氏名(漢字)	氏名(フリガナ)	性別	生年月日	段級位	現段級位 受領年月日	現段位 登録申請県名	全剣連番号	顧問 生徒	備考	学校名	職業 コード	性別 コード		
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	

- ① 【学校番号】を入力して下さい。(学校名が表示されます。)
- ② 【氏名(漢字)】を入力して下さい。性と名の間は全角で1マス空けて下さい。(番号・部員登録番号が表示されます。) 外字は、常用漢字で置き換えて入力し、【備考】に外字と記載。
- ③ 【氏名(フリガナ)】を半角カタカナで入力して下さい。性と名の間は半角で1マス空けて下さい。
- ④ 【性別】の ▼ をクリックして「男」「女」のどちらかを選択して下さい。(男子・女子の人数と総数、性別コードが表示されます。)
- ⑤ 【生年月日】を H〇〇. 〇〇. △△ (例：平成 11 年 1 月 1 日生まれの場合→H11. 1. 1) で入力して下さい。
- ⑥ 【段級位】の ▼ をクリックして「一級」「初段」……「7 段」「8 段」「なし」を選択して下さい。
- ⑦ 【現段級位受領年月日】を H〇〇. 〇〇. △△ (例：平成 29 年 1 月 8 日の場合→H29. 1. 8) で入力して下さい。1 級も受領年月日が必要です。
- ⑧ 【現段位登録申請県名】の ▼ をクリックして「埼玉」「茨城」……「沖縄」「国際」を選択して下さい。段級位が「1 級」または「なし」の場合は空欄。
- ⑨ 【全剣連番号】を半角英数で入力して下さい。段級位が「1 級」または「なし」の場合は空欄。
- ⑩ 【顧問生徒】の ▼ をクリックして「顧問」「生徒」のどちらかを選択して下さい。(顧問・部員の人数、職業コードが表示されます。)
- ⑪ 年度途中で追加登録をする際は、年度当初の登録の続きの行にデータを入力し、【備考】に「◇/◇追加」(例：10/1 に追加なら「10/1 追加」と入力して、HP の登録フォームより再送信して下さい。)
- ⑫ 退部等で部員が減った場合、その部員分を詰めて再度提出する必要はありません。
- ⑬ 部員登録番号は高校剣道連盟の昇段審査申込みの際に必要となりますので、部員へ部員登録番号を伝えて下さい。

★“現段級位受領年月日”は全剣連の HP で検索ができます。間違いのないよう、よろしくお願いします。

5月19日(金)までに提出をお願い致します。

高校剣道連盟会費について

- 1 登録は、剣道部顧問及び、部員全員が行う。会費納入のないものは、高校剣道連盟の段級審査会の受験資格がありません。
- 2 登録用紙に男子、女子の順で行をあげずに必要事項を記入する。
- 3 登録用紙の提出は、ホームページから書式をダウンロードし、電子データはホームページの登録フォームから添付ファイルにて送信してください。その際のファイル名は学校名をお願いいたします。
- 4 郵便振替払込金受領証のコピーを会費納入書裏面中央に貼付する。
- 5 追加登録をする場合には、最初の登録時と同様に行ってください。追加登録者の必要事項を記入し、ホームページの登録フォームから添付ファイルで送信してください。会費納入書を越谷西高校中阪まで郵送してください。その後の追加登録も同様にして下さい。

高校剣道連盟会費納入方法について

- 1 会費は1人 1,200円。剣道部顧問及び、部員全員が納入する。
- 2 会費納入方法
 - 1) 高校剣道連盟の用意する郵便局の払込金受入票に必要事項を記入し郵便局に振り込む。
 - 2) 払込人住所氏名欄に、学校の郵便番号、住所、校名、顧問氏名、電話番号。通信欄に、顧問数、男子部員数、女子部員数、合計人数を記入する。
払込合計人数と、登録用紙に記載された人数が合うよう注意する。
- 4 郵便振替払金受領証コピーを会費納入書裏面中央に張り付け提出して下さい。会費納入書はホームページよりダウンロードして下さい。
- 5 登録、納入方法の問い合わせ先
越谷西高等学校 高校剣道連盟 中 阪 絹 子
住所〒343-0801 越谷市野島460-1 TEL048-977-4155
FAX 084-973-1183

払込金受入票記入控え

払込人住所氏名欄記載事項		通信欄記載事項	
学校の郵便番号 _____ 学校の住所 _____ 学校名 _____ 顧問氏名 _____ 学校の電話番号 _____		合計人数 _____名 顧問登録数 _____名 男子登録数 _____名 女子登録数 _____名	
納入金額		郵便振替 口座番号 00520-0-979 加入者名 埼玉県剣道連盟高校支部	

令和5年度 高校剣道連盟会員登録申込書学校番号

No	東部地区校名	No	西部地区校名	No	南部地区校名	No	北部地区校名
101	春日部	201	川越	301	浦和	401	熊谷
102	春日部女子	203	川越女子	302	川口	402	熊谷女子
103	久喜	205	飯能	303	浦和第一女子	405	本庄
104	不動岡	207	朝霞	304	浦和西	406	児玉
105	越ヶ谷	208	狭山緑陽	305	大宮	407	秩父
106	草加	209	坂戸	306	蕨	408	小鹿野
109	越谷北	210	豊岡	307	戸田翔陽	409	深谷
110	誠和福祉	211	所沢	309	与野	410	進修館
111	吉川美南	212	和光	310	上尾	411	鴻巣
112	八潮	213	越生	311	川口北	412	寄居城北
113	蓮田松韻	215	新座	312	上尾鷹の台	414	熊谷西
114	越谷南	216	日高	314	大宮武蔵野	415	深谷第一
116	栗橋北彩	217	所沢北	315	上尾南	420	熊谷農業
117	三郷	218	志木	316	浦和北	421	秩父農工科学
118	草加南	219	川越南	317	川口東	422	児玉白楊
119	羽生第一	220	富士見	319	大宮東	424	熊谷工業
120	春日部東	224	ふじみ野	320	南稜	425	深谷商業
121	杉戸	226	飯能南	322	大宮南	426	熊谷商業
122	白岡	227	入間	323	浦和東	427	皆野
123	鷺宮	228	朝霞西	324	上尾橋	431	東京成徳深谷
124	越谷西	229	新座柳瀬	325	川口青陵	432	本庄第一
125	草加東	230	川越西	326	伊奈学園総合	433	本庄東
126	三郷北	231	所沢西	327	大宮光陵	434	早大本庄
127	庄和	232	坂戸西	328	鳩ヶ谷	435	松山
130	松伏	233	所沢中央	329	いずみ	436	松山女子
132	越谷東	234	鶴ヶ島清風	330	川口工業	437	滑川総合
133	宮代	235	狭山清陵	331	浦和工業	438	鳩山
134	草加西	236	川越初雁	332	大宮工業	441	東農大三
135	八潮南	237	入間向陽	333	浦和商业	442	桶川
136	久喜北陽	239	芸術総合	334	大宮商業	444	桶川西
137	杉戸農業	240	和光国際	335	常盤女子	445	小川
138	久喜工業	241	川越総合	337	市立浦和		
139	春日部工業	242	川越工業	338	川口市立		
140	三郷工業技術	243	狭山工業	339	市立大宮北		
141	越谷総合技術	245	新座総合	340	市立大宮西		
142	幸手桜	246	所沢商業	341	市立浦和南		
144	羽生実業	247	狭山経済	343	浦和明の星女		
145	春日部共栄	248	市立川越	344	浦和学院		
147	昌平	249	筑波大坂戸	345	浦和実業		
148	獨協埼玉	250	秋草学園	346	浦和ルーテル		
149	花咲徳栄	252	武蔵越生	347	大宮開成		
150	開智未来中高	253	川越東	349	浦和麗明		
151	叡明	254	慶応志木	350	埼玉栄		
		255	埼玉平成	351	栄東		
		256	狭山ヶ丘	352	秀明英光		
		257	秀明	353	淑徳与野		
		258	自由の森学園	354	武南		
		259	城西川越	355	国際学院		
		260	城北埼玉	356	栄北		
		261	西武学園文理	357	岩槻		
		262	西武台	358	岩槻北陵		
		263	聖望学園	359	岩槻商業		
		265	東野	360	開智		
		266	星野	361	開智中高		
		267	細田学園				
		268	山村学園				
		269	山村国際				
		270	立教新座				

2023年度 総務部役割分担

昨年からの変更は字体を太文字に変えています。

※ 総務部としての常任委員:小久保・梅澤・山口・齋藤・**上野** 高校剣道連盟会計役員(会計):中坂 地区委員長梓:森
 ※ 会計担当として専門部長から任命:加藤、山田 HP担当として専門部長から任命:古井

役割	責任者	担当	担当 必要 人数	役割分担
要覧作成	梅澤	古井 渡部	2	剣道専門部要覧の作成。
派遣文書	森	東 楡井 西 大隈 南 嶋村 北 山口	各地区1	派遣文書の通知。 文書送付先の4名に到着の連絡をして欲しい。 各部の文書は各部で作成。それを 森 へ回し、発番取得。
各種調査	中阪	小針 橋本	2	人口調査、段位調査の集計。人口調査は、高体連への報告のため。 段位調査は、剣連の報告のため。
会議書記	齋藤	山田	1	常任委員会の会議録。総務の諸会議の会議録。ノートは取らず
名簿管理	梅澤	東 中阪 西 小針 南 上野 北 梅澤	各地区1	役員顧問名簿の作成・管理。
連絡網		東 中阪 西 小針 南 上野 北 梅澤	各地区1	地区連絡網の作成(FAX→計報連絡など、ただし、地区の計報連絡は各地区委員長)
顧問総会 代表者会議	全員	全員	全員	顧問総会の司会(加藤)、資料の運搬、会場設営・片付け。
記録報道	梅澤 小久保 古井	東 楡井 遠藤 西 小針 古井 南 嶋村 穴戸 北 梅澤 持田か	各地区2	大会記録の管理、新聞社への原稿提供、高体連への報告。 新聞社への原稿提供 : 小針、 高野(競技部) 高体連への報告 : 小針、齋藤 剣道雑誌への記事提供 : 競技部 各地区の大会記録をHPIに掲載するため、古井と競技部へ報告する。
賞状・賞品	中阪	上野、 穴戸 、佐々木	2	賞状・賞品の準備。
弁当(湯茶)	山田	持田か、森、 山田	3	大会時の弁当注文、湯茶の準備・片付け。 (125名~135名程度の範囲で、ある程度数を読んで発注し、大会当日の10時頃までに連絡を行う。) 補助役員の弁当も注文する(R3年度以降)
ホームページ	古井	梅澤、嶋村、 持田か	3	HPの管理。大会写真撮影。各部での連絡は、大いに活用。公式文書は禁止
動画配信調整	山口	森	1	動画配信を希望する業者が委員長に連絡し、委員長から連絡を受けて調整
埼玉県 剣道大会 総務	中阪 上野	加藤 齋藤、小針	3	大会総務、剣連との連絡。 剣連との連絡の徹底が必要。
運営負担金 徴収	加藤	男子 齋藤、渡部、小松、青山 女子 山田、中阪、小口、高橋	4 4	大会運営負担金の徴収集計、納入。
顧問研修会	加藤 齋藤	山田、上野	2	懇親会、祝賀会(山田)の企画、運営。 開始時間の徹底、人数の把握に困難(当日キャンセルなど)は課題。 大会終了後の懇親会の在り方も課題。
救護	加藤	井上、齋藤、 山田	3	救急箱の維持・管理。大会時の看護師の対応、連絡。 27年度より看護師派遣。
警備	齋藤	楡井 当日、審判、試合 場役員でない先生 方 大会当日、ステー ジ右の部屋に集合 当日確認		会場内の警備(小谷、 遠藤 、 安藤 、 高橋) 腕章保管(齋藤) 更衣室の使用場所で、競技部との連携が必要。 女子の大会日に於ける、更衣室関連の警備に女性教師の人数がやや不足 当日の競技部割り振りにて担当決定
高校剣道連盟 会計	中阪	小久保、 上野	2	高校剣道連盟会計管理。
高体連 会計	加藤	山田、齋藤、 橋本	3	大会会計、高体連との予算折衝。 消耗品に関しては、総務部(会計)に相談をしてからの購入。

2021年 4月1日 訂正
2023年 3月25日 訂正

令和5年度
埼玉県高体連剣道専門部行事予定（案）

2023/4/1
21:58
現在

4月	行事名	会場	5月	行事名	会場	6月	行事名	会場	7月	行事名	会場	8月	行事名	会場	9月	行事名	会場
1 土			1 月	関東県予選男女個人	所沢市民体育館	1 木			1 土			1 火			1 金		
2 日			2 火			2 金	関東大会	千葉県	2 日	国体最終選考会	県武道館	2 水			2 土		
3 月			3 水			3 土	関東大会	千葉県	3 月			3 木	全国高校総体	北海道	3 日		
4 火			4 木			4 日	関東大会	千葉県	4 火			4 金	全国高校総体	北海道	4 月		
5 水			5 金			5 月			5 水			5 土	全国高校総体	北海道	5 火		
6 木			6 土	関東県予選男子団体	県武道館	6 火	全国県予選代表者会議	県武道館	6 木			6 日	全国高校総体	北海道	6 水		
7 金			7 日	関東県予選女子団体	県武道館	7 水			7 金			7 月			7 木		
8 土			8 月			8 木			8 土			8 火	指導者講習会	秀明栄光	8 金		
9 日			9 火			9 金			9 日	全日本女子都道府県対抗	東京都	9 水			9 土		
10 月			10 水			10 土			10 月			10 木			10 日		
11 火			11 木			11 日			11 火			11 金			11 月		
12 水			12 金			12 月			12 水			12 土			12 火		
13 木			13 土	国体1次選考会	未定	13 火	全国県予選男女個人	所沢市民体育館	13 木			13 日			13 水		
14 金	支部団体戦会場 東部・(22) 吉川美南 西部・(22) 鶴ヶ島清風 南部・(22) 大宮東 北部・(22) 皆野		14 日			14 水			14 金			14 月			14 木		
15 土			15 月			15 木			15 土			15 火			15 金		
16 日			16 火			16 金			16 日			16 水			16 土		
17 月			17 水			17 土			17 月			17 木			17 日		
18 火			18 木			18 日			18 火			18 金	国体関東ブロック準備	県武道館	18 月		
19 水	支部個人戦会場 東部・(23) 吉川美南 西部・(23) 日高 南部・(23) 川口市立 第2校地 北部・(23) 皆野		19 金			19 月			19 水			19 土	国体関東ブロック準備	県武道館	19 火		
20 木			20 土			20 火	全国県予選男子団体	県武道館	20 木			20 日	国体関東ブロック	埼玉県	20 水		
21 金			21 日			21 水	全国県予選女子団体	県武道館	21 金			21 月	昇段審査	県武道館	21 木		
22 土			22 月			22 木			22 土			22 火			22 金		
23 日			23 火			23 金			23 日			23 水			23 土		
24 月	休館日	県武道館	24 水			24 土			24 月			24 木			24 日		
25 火			25 木			25 日	1級審査	スポ総	25 火			25 金			25 月	休館日	県武道館
26 水	関東県予選代表者会議	県武道館	26 金			26 月	休館日	県武道館	26 水			26 土			26 火		
27 木			27 土			27 火			27 木			27 日			27 水		
28 金			28 日			28 水			28 金			28 月	休館日	県武道館	28 木		
29 土	全日本都道府県対抗	大阪府	29 月	休館日	県武道館	29 木			29 土			29 火			29 金		
30 日			30 火			30 金			30 日			30 水			30 土		
			31 水						31 月	休館日	県武道館	31 木					
													中高合同強化錬成会	未定			

令和5年度
埼玉県高体連剣道専門部行事予定（案）

2023/4/1
21:58
現在

10月	行事名	会場	11月	行事名	会場	12月	行事名	会場	1月	行事名	会場	2月	行事名	会場	3月	行事名	会場
1 日			1 水	支部新人大大会会場 東部・(5)久喜工業 西部・(5)日高浦和 南部・(4)県立寄居町立 北部・(5)総合体育館		1 金			1 月	休館日	県武道館	1 木			1 金		
2 月			2 木			2 土			2 火	休館日	県武道館	2 金			2 土		
3 火			3 金			3 日			3 水	休館日	県武道館	3 土	中高合同強化練習会	未定	3 日		
4 水			4 土			4 月			4 木			4 日			4 月		
5 木			5 日			5 火			5 金			5 月			5 火		
6 金			6 月			6 水			6 土			6 火			6 水		
7 土			7 火			7 木			7 日	昇段審査	県武道館	7 水			7 木		
8 日	特別国体	鹿児島県	8 水			8 金			8 月			8 木			8 金		
9 月	特別国体	鹿児島県	9 木			9 土	指導者研修会	秀明栄光	9 火			9 金			9 土		
10 火	特別国体	鹿児島県	10 金			10 日			10 水	武道館利用調整会議	県武道館	10 土	栃木県交流戦(栃木県)	栃木県ユウ ケイ武道館	10 日		
11 水			11 土			11 月			11 木	新人大大会代表者会議	スポ総	11 日			11 月		
12 木			12 日			12 火			12 金			12 月			12 火		
13 金			13 月	埼玉県剣道大会「高校の部」	県武道館	13 水	休館日	県武道館	13 土			13 火			13 水		
14 土			14 火			14 木			14 日			14 水			14 木		
15 日			15 水			15 金			15 月	新人大大会男子団体	県武道館	15 木			15 金		
16 月			16 木			16 土			16 火	新人大大会女子団体	県武道館	16 金			16 土	国スポ強化	未定
17 火			17 金			17 日	はじめ杯	松伏高校	17 水			17 土	埼玉県剣道大会一般の部 埼玉県強化練成会	県武道館 未定	17 日		
18 水			18 土			18 月			18 木			18 日			18 月		
19 木			19 日			19 火			19 金			19 月			19 火		
20 金			20 月			20 水			20 土			20 火			20 水		
21 土			21 火			21 木			21 日			21 水			21 木		
22 日	1級審査	スポ総	22 水			22 金			22 月			22 木			22 金		
23 月			23 木			23 土			23 火			23 金			23 土		
24 火			24 金			24 日			24 水			24 土			24 日		
25 水			25 土			25 月			25 木			25 日			25 月		
26 木			26 日			26 火			26 金			26 月	休館日	県武道館	26 火	全国選抜大会	愛知県
27 金			27 月	休館日	県武道館	27 水			27 土			27 火			27 水	全国選抜大会	愛知県
28 土			28 火			28 木			28 日			28 水			28 木	全国選抜大会	愛知県
29 日			29 水			29 金	休館日	県武道館	29 月	休館日	県武道館	29 木			29 金		
30 月	休館日	県武道館	30 木			30 土	休館日	県武道館	30 火						30 土		
31 火						31 日	休館日	県武道館	31 水						31 日	休館日	県武道館

各提出書類について

顧問の先生は各行事ごとに提出をお願いします。
書類はHPからダウンロードして使用してください。

1. HPで登録するもの

- ① 顧問登録 締切 4月27日（木）
- ② 部員登録 締切 5月19日（金） 登録后会費納入

2. 昇段審査申込について

- 8月審査会 インターハイ予選時に顧問が申込
- 1月審査会 埼玉県剣道大会時に顧問が申込
- 必要書類 ①個人申込書 ②団体申込書

3. 行事一覧

月	日	曜	行事名	書類	備考
4	22	土	春季支部大会団体・個人	大会申込書（顧問総会時）	大会要項確認 模造紙1/4で作成 HPからダウンロード
	23	日		オーダー表 健康チェックシート	
4	26	水	関東大会県予選代表者会議 顧問総会	大会申込書	HPからダウンロード 県予選出場権獲得校
5	1	月	関東大会予選個人	個人個票 健康チェックシート	HPからダウンロード
5	6	土	関東大会予選男子団体	オーダー表	模造紙1/4で作成 HPからダウンロード
	7	日	関東大会予選女子団体	健康チェックシート	
6	6	火	インターハイ予選代表者会議	大会申込書 大会運営負担金 人口調査用紙 高校剣道連盟会費納入書	HPからダウンロード
6	13	火	インターハイ予選男女個人	個人個票 健康チェックシート	HPからダウンロード
6	20	火	インターハイ予選男子団体	オーダー表	模造紙1/4で作成 HPからダウンロード
	21	水	インターハイ予選女子団体	健康チェックシート	
6	25	日	1級審査会（高体連）	要項・HP確認	当日申込
8	21	月	昇段審査（高体連）	要項・HP確認	
10	22	日	1級審査会（高体連）	要項・HP確認	当日申込
11	4	土	秋季支部大会団体	大会申込書（顧問総会時・郵送）	大会要項確認 模造紙1/4で作成 HPからダウンロード
	5	日		オーダー表 健康チェックシート	
11	13	月	埼玉県剣道大会（高校の部）個人	個人個票 健康チェックシート	HPからダウンロード
1	11	木	新人大会代表者会議	大会申込書 大会運営負担金	HPからダウンロード
1	15	月	新人大会男子団体	オーダー表	模造紙1/4で作成 HPからダウンロード
	16	火	新人大会女子団体	健康チェックシート	

HPにも同じページがあります。また、追加・変更・訂正もあります
ので必ず事前に確認をしてください。

★ 代表者会議には、要覧をご持参下さい

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部連絡先 ※変更になる場合があります。

全般について

委員長 津坂 宗秀 (県立与野高校)
Tel048-852-4505 Fax048-840-1046

支部行事について

東部 勝間 健 (県立越谷南高校)
Tel048-988-5161 Fax048-961-1180

西部 山本 隆浩 (県立川越高校)
Tel049-222-0224 Fax049-229-1051

南部 蒔田 正人 (埼玉栄高校)
Tel048-624-6488 Fax048-622-3068

北部 森 俊幸 (県立深谷商業高校)
Tel048-532-8881 Fax048-530-1081

大会について

上田 伸一 (県立川越南高校)
Tel049-244-5223 Fax049-240-1051

審査について

杉山 栄樹 (秀明高校)
Tel049-232-6611 Fax049-232-6614

強化について

栗原 洋右 (川口市立高校)
Tel048-483-5917 Fax048-262-5081

高校剣道連盟会費について

中阪 絹子 (県立越谷西高校)
Tel048-977-4155 Fax048-973-1183

総務(大会運営負担金)について

山口 雅之 (県立熊谷工業高校)
Tel048-523-3354 Fax048-520-1061

高校剣道連盟事務局

森田 一成 (県立浦和高校)
Tel048-886-3000 Fax048-885-4647

※ 各種申込は剣道専門部ホームページからダウンロードし提出してください。

令和5年度埼玉県高体連剣道専門部委員会・(公財)埼剣連加盟団体高校剣道連盟総会

埼玉県立武道館
司会 加藤(常任委員)

次第

1. 剣道専門部委員会

- ・部長紹介
- ・議長選出
- ・協議事項
- ・その他
- ・連絡事項
 - ・審判長より
 - ・委員長より
 - ・総務部
 - ・指導普及部
 - ・競技部
 - ・強化部

2. 埼玉県高校剣道連盟総会

- ・協議事項
- 役員選出
- ・令和4年度決算報告
- ・令和5年度予算(案)
- ・登録について
- ・段位審査会について
- ・事務局より

3. その他

4. 各部会(競技・強化・指導普及・総務)